

**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640**

**GROUP 4**



*Lend a Hand*

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**

**(Sat)22. 11. 2003**

**Registration 12:00～14:00**

会場 粉河町「ふるさとセンター」

ホスト 粉河ロータリークラブ

# プ ロ グ ラ ム

平成15年11月22日土曜日

| 時 間             | 所要時間 | 事 項                                                                                             | 担 当 者                                                                                                                                                                |
|-----------------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 12:00～<br>14:00 |      | 登録受付                                                                                            |                                                                                                                                                                      |
| 12:50～<br>13:50 | 60分  | 部門別会議<br>親睦委員長会議<br>米山委員長会議<br>ロータリー財団委員長会議                                                     | 地区役員及びクラブ委員長<br>地区役員及びクラブ委員長<br>地区役員及びクラブ委員長                                                                                                                         |
| 14:00～<br>14:30 | 30分  | 開会式<br>点鐘<br>君が代・奉仕の理想<br>開会の言葉<br>歓迎の言葉<br>ガバナー挨拶<br>ゼネラルリーダー挨拶<br>来賓紹介<br>地区役員紹介<br>参加クラブ出席報告 | 司会 東 敬二<br>ホストクラブ会長 平原 祥彰<br>ソングリーダー 松岡 博之<br>I.M実行委員長 植田 範矢<br>ホストクラブ会長 平原 祥彰<br>ガバナー 前窪 貴志<br>ゼネラルリーダー 大澤 徳平<br>I.M実行副委員長 宇田 勝彦<br>I.M実行副委員長 宇田 勝彦<br>登録受付委員長 東 秀樹 |
| 14:35～<br>15:35 | 60分  | 基調講演<br><br>「紀ノ川とふるさとの文化」<br>(紀州の調べと共に)                                                         | 司会 脇田 保美<br>講師紹介 脇田 保美<br>講師 梅田 恵以子先生<br>歌 堤 敦子様                                                                                                                     |
| 15:40～<br>16:20 | 40分  | 囲炉裏端話(軽食あり)                                                                                     | 司会 野崎 丞<br>語り部紹介 野崎 丞<br>アルパ演奏と民話の語り 上之山幸代様                                                                                                                          |
| 16:30～<br>17:00 | 30分  | 閉会式<br>概評<br>次期ホストクラブ発表<br>次期ホストクラブ会長挨拶<br>閉会の言葉<br>手に手つないで<br>閉会点鐘                             | 司会 東 敬二<br>ゼネラルリーダー 大澤 徳平<br>ガバナー 前窪 貴志<br>高野山ロータリークラブ会長 古沢 憲治<br>I.M副実行委員長 吉田 喜代司<br>全員で<br>ホストクラブ会長 平原祥彰                                                           |

## 開会式・閉会式・囲炉裏端話・各部門別会議設営場所

| 受 付                 | 玄関ホール  |
|---------------------|--------|
| 開会式・基調講演            | 小ホール   |
| 親睦(ロータリーファミリー)委員長会議 | 視聴覚室2F |
| 米山奨学会委員長会議          | 和室1F   |
| ロータリー財団委員長会議        | 会議室2F  |
| 炉端話・閉会式             | 小ホール   |



# 知 慧 ・ 愛 … 伝 え よ う 子 供 達 に

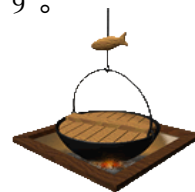
## 「紀ノ川とふるさとの文化」

講師 (随筆家) 梅田恵以子 先生

まもなく、ユネスコ世界遺産として登録されようとしている熊野・高野山…。古くは古墳時代から、また万葉の要衝街道として栄えた、ふるさと「母なる川、紀ノ川」が開いた平野に生まれ育った私たち。

はたして今、私たちはふるさとの先人が培った、その大切な誇りと文化をどれだけ理解し、認識を持っているでしょうか、また未来に伝えてゆけるのでしょうか…。

紀ノ川の文化を愛され精通されておられます、郷土研究家で随筆家としても著名な、[梅田 恵以子先生]を講師にお迎えして、私たちが地域に、家族に、語り続けてゆかなければならない、「ふるさとの心」を、ご講演いただきます。



## 「民話とやすらぎの調べ」

語りべと演奏 (アルパ奏者) 上之山 幸代 さん

昔、幼いころ、囲炉裏端で、また火鉢の周りで、手を温めながら、おじいさんやおばあさんから聞いた、ふるさとに伝わるお話、私たちがドキドキと胸をときめかせながら聞いた民話…。

エアコンがテレビが、各家庭各室に完備し、子供たちも皆自分の部屋をもち、家族の会話も少なくなっている現代、あの民話たちはどこへ行ってしまったのでしょうか、そして、私たちは子供に孫たちへ伝えるものをいつ何処で、無くしてしまっただけなのでしょうか…。

琴の音にも似たアルパの調べに乗せ、自らも中学生の悩みのカウンセラーとしてもご活躍されています、アルパ奏者でナレーターの[上之山 幸代 さん]に、囲炉裏端の雰囲気の中で、紀ノ川沿いの「ふるさと」に伝わる民話を朗読していただき、私たちが失いつつ有るものを、今取り戻す契機としたいと思います。



## 【参加クラブ】

橋本RC 橋本紀ノ川RC 高野山RC  
岩出RC 打田RC 粉河RC

ふるさと讃歌  
紀州路一〇〇曲より  
作詞 梅田 恵以子  
作曲 森川 隆之

山の村ーかつらぎ町ー  
わたしの顔が  
輝くときは  
山で樵の実 拾うとき  
かやぶきの屋根に  
ふり落ちる青い実は  
すっぱい秋の白いがする  
高野祈り道ー高野山ー  
木漏れ陽がふりかかる  
あおい杉木立のあいだから  
高野女人堂は  
なぜかすすりなく  
女のうしろすがた  
ゆきすぎてみあげてくる  
淋しさが  
風の中の子もり歌ー根来ー  
根来の子もり唄  
なつかしさは  
遠い日の母の背中  
聞いた優しいさのうた  
ほのぼのと  
花が白うような  
夢を残して

# 参加申し込み

登録料 会員一人当たり3000円(9月末日現在の在籍会員数)

振込銀行 南都銀行 粉河支店

口座番号 普通預金 049776

口座名 IM4組会計 井関 孝純(アイエム4クミカイケイ イセキタカズミ)

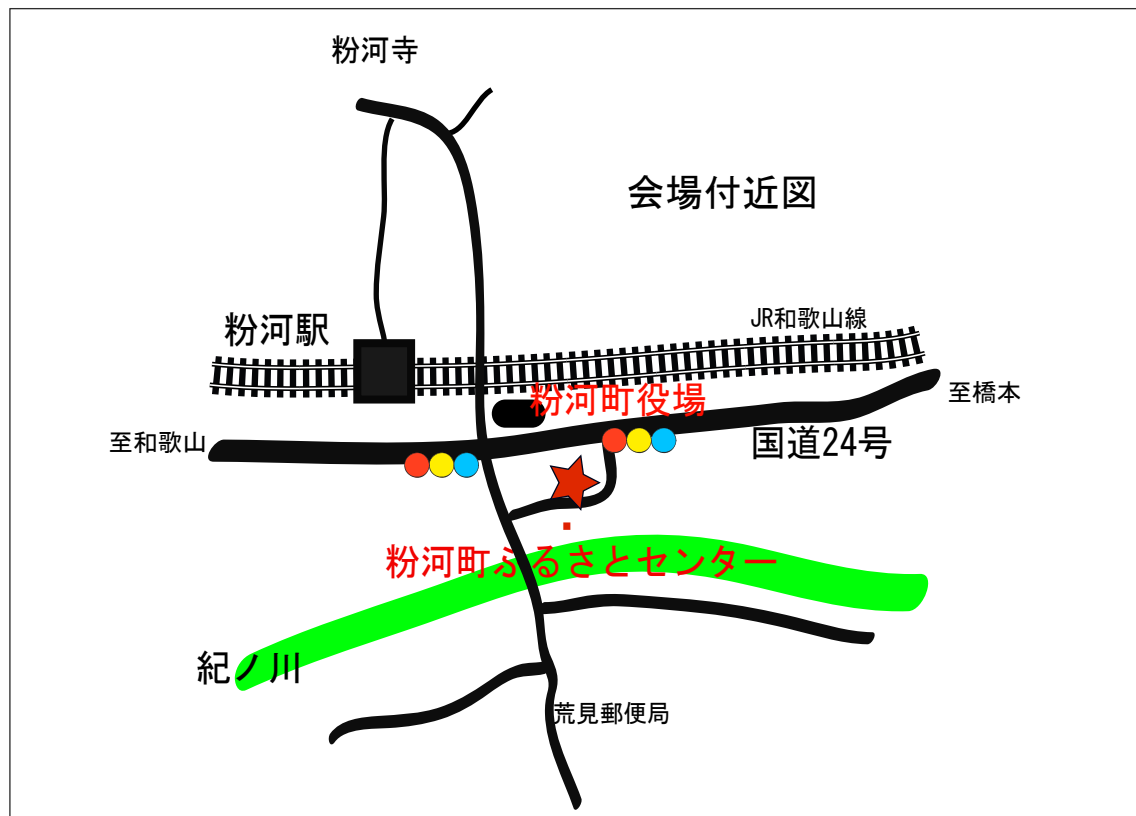
申込〆切り 10月25日必着にて各クラブの会員出席者名をご連絡下さい。

申込先 粉河ロータリークラブ事務局  
649-6531  
和歌山県那賀郡粉河町粉河784-3  
TEL & FAX 0736-73-8422  
e-mail kokawarc@leto.eonet.ne.jp

昼食 各自お済ませ下さい、

囲炉裏端では簡単なお食事(我がらの味)を召し上がりながら

駐車場 充分ございます。



| I. M委員会<br>役員 | 委員長   | 副委員長           | S. A. A | ホストクラブ<br>役員 | 会長    | 幹事   | 副会長  | 会長エレクト |
|---------------|-------|----------------|---------|--------------|-------|------|------|--------|
|               | 植田 範矢 | 吉田喜代司          | 東 敬二    |              | 平原 祥彰 | 泊 佳秀 | 東 秀樹 | 福岡 重弘  |
|               |       | 宇田 勝彦<br>楠見 雅信 |         |              |       |      |      |        |

# 部門別会議

## 親睦委員長会議



## 米山財団委員長会議



## ロータリー財団（ロータリーファミリー） 委員長会議





## 親睦委員長（ロータリーファミリー委員会）会議

### ○ リーダー

#### ・ パストガバナー

地区ロータリーファミリー委員会委員長 成川 守彦

#### ・ パストガバナー

亀岡 弘

#### ・ ガバナー補佐

地区ロータリーファミリー委員会委員 豊澤 浩

#### ・ ガバナー補佐

地区ロータリーファミリー委員会委員 楠見 雅信

### ○ 参加者

#### ・ 高野山 R C 大岡 正敬

#### ・ 打田 R C 三木 茂

#### ・ 橋本 R C 小西

#### ・ 打田 R C 柏井 健作

#### ・ 橋本 R C 曾和 宏之

#### ・ 岩出 R C 長浜 順三

#### ・ 橋本紀の川

#### ・ 粉河 R C 岩田 敏伸

R C 田村 章弘

#### ・ " 堀木 耕一

#### ・ " 米田 照行

### ○ 司会 嶋 作視（粉河 R C）

司 会 : 私は 司会担当の嶋でございます  
よろしくお願い致します。  
では、成川委員長よろしくお願い致します。



成川委員長 : 皆様、ご苦劳様です。今日は I M の事前会議であります。前窪  
ガバナーの今年の方針でロータリー・ファミリー 委員会をやる  
ようにと云う事で皆様にお集まりを頂ました。まずロータリー  
ファミリー委員会を別個に設立しているクラブはございますか・  
ありましたら、ちょっと教えて下さい・ないですか・皆さん  
親睦活動委員会だけですか・先程、司会の嶋さんからのお話では  
地区のホームページに、ロータリーファミリーの事が載っており  
ますし地区協議会の事も出ていますので新たに、ここでロータリ  
ーファミリーの事を話す予定はございません。今日は各クラブにお  
いて、これまでにどう云う事をなさってきたかと云う点を中心に  
お話をこちらからお聞きしたいと思います。地区大会において  
パネリストになって頂いた皆様から活動の紹介がありましたが、  
まず皆様方のクラブでこれまでどう云う事をしてきたか・今後  
どう云うことをしたいかと云う事をご紹介して頂きたいと思いま  
す。 まずは粉河クラブ からお願い致します。

粉河 R C : 私共は家族例会 クリスマス同伴例会ありがとう例会会員の誕生日・結婚記念日はもちろんの事です、その他に配偶者の誕生日に会長と親睦委員の二人で大きな花束を当日お届けさせて頂いております。最初のころは仕事の都合から時間調整など苦劳しましたが、今までは奥様方がすごく喜んで頂くのと、コミュニケーションがタツプリととれるので最近は楽しくなっています。  
永年ロータリー活動をされて退会された会員に対して日帰りの家族例会に誘ってはどうかと幹部より話がありましたので、さっそ



く奈良の興福寺の狂言と能の観劇旅行に退会した元会員に声をかけさせて頂きました。中には中々お会いすることが出来なくて、3回4回も足を運んだ事も有りました、その結果、二人（夫婦）が参加して頂く事になり喜んでおりまいしたところ高齢の方なので出発直前に病気になりダメになってしまいました。けれども今後もこう云う活動を続けて行きたいと思っています。ゴルフやボーリングですが親睦の一環として提案させて頂きましたが、先日の地区大会のパネリストの皆様のお話を聞くとゴルフやボーリングは親睦ファミリーのする事ではなく、別にロータリーでなくても誰でも出来ると云う事で、この件に関しては別に考えたいと思っています。又親睦委員会と親睦活動（ロータリーファミリー）の違いもパネリストの話を聞かせて頂いた中で、ようやく意味が理解できましたので、これからもう一度残された任期内で考えてみたいと思います。



成川委員長：花束ですか 自宅へ届けるんですね・・・それはご苦労さんですね  
他のクラブでやっておられるところはありますか・・・又会員の日帰り家族会残念でしたね、親睦と親睦活動については後程話が出ると思います。

岩出RC：親睦委員会をさせて頂いて、ロータリーファミリーと云う形をどう云うふうにしようかと考えました。まず先程言われましたように奥様の誕生日とか結婚記念日とか色々やっていますが奥様の誕生日にはおめでたい電報と云う事で祝電を打っています。コースター付きの3,000～4,000円位のものをその日に打っています。又別に何かプレゼントも考えています。7月は通年例会として京都鞍馬の貴船で通年例会をさせていただきました。メンバー共に50数名出席して頂きました。8月19日（土）子供や

孫・奥様を15名位含む55名で美里の天文台へ見物に出かけました。又ゴルフ同好会ボーリング同好会もあります。が、家族の方が来て頂けるような企画を2ヶ月に一度位開いています。そしてその空いた月に親睦委員会を年6回位行います。10月には丹波篠山へ行きました。そして12月14日(日)にクリスマス例会を予定しています。



高野山RC：今は何もやっていませんが、来年の世界大会に有馬の方へ家族全員で泊りがけで最終日を見に行こうと思っています。10月には星空例会をしました。高野山には天文台があります。そこで皆と一緒に焼肉をしたり、望遠鏡を見たりして例会を開きました。

打田RC：私自身ロータリーに入会して2年位で過去については余り知識がありませんが、一年を経過してから今年に向けての事を申し上げます。皆さんすでにご存知の通り打田クラブは人数が少ないので皆様のクラブよりも、より一層ファミリー活動が必要となります。変則的に月に一度、外部の人を招いて家族の子供も参加して頂いております。さっそくこの27日に実施いたします。ただファミリーと云いまして配偶者と云う事になりますのでチャリティーバザーとか、子供たちも意識したクリスマスパーティと云うものもあり、小さな子供達も参加します。当クラブには3人の女性会員がいます。その旦那様も含めた中で開催をしています。配偶者のいないメンバーもいる訳で、突き詰めて尋ねると云う辛さもありまして心苦しい事がたびたびあります。強力に言い難いという悩みもあります。しかしメンバーがどんどん増える状況ではないので、ファミリーの参加が必要条件であります。

成川委員長：多くの方に参加して頂くのはいいと思いますよ 配偶者に言いにくいとか  
色々な事情はあると思いますがひとり身の方もおられるし、その辺各クラブはどうでしょうか・・・



岩出 R C：岩出ロータリークラブの副委員長の和田さんですが、去年奥さんが亡くなられて娘さんもアメリカに留学して一人なんです。夜一人ぼっちで暮らしている中で親睦委員の副委員長をして頂いてまして、その都度声をかけることにやっぱり気を使います。委員長としても奥様の要請もかけるわけです。中々云いにくいと言う事で考えましたが副委員長の立場上毎回出てきてくださいよと・・・もちろん奥様も子供さんもみんな要請かけますが、あえて出て来て頂いて親睦委員会の中で毎回やっていれば少しでも忘れていただけるんじゃないかなと思ってずっと好意でさせてもらってるんです。

成川委員長：岩出さんの話もご参考にですね。あんまり気にしなくてもいいんじゃないかなと言う気もしますけどね！それで先程出た例会の場合会員以外の参加は少ないようですね、会員以外の参加時々あるという方がありますか・・・少ないと思います。アメリカなんかの場合 友達がしょっちゅう、付いてきますよね！・・・僕はだいたい多くは全部じゃないですけども食事代はだします。例えば私が友達の所に行った時、友達もロータリアンですが、その友達とそのクラブへ友達として連れて行ってくれるんです。だからもうちょっとロータリーファミリーを広げていくっていうにはロータリーを知ってもらわなあかん！だから例会にも友達を会員候補じゃなくて、あなたの友達、会社の従業員の方でもいいんですよ、理解してもらう為に、そういう方を例会に来ていただく！そういう風に広げていってもらったら・・・打田さん、このように家族



の方も来てもらうなら、一歩進んで従業員とか友達も来てもらえるように考えていただけたらいいかなと私は思います。



橋本 R C : 最初にファミリー委員会として親睦委員会以外の交際メンバーされているところ

ありますか？と聞かれてやっぱり！ちょっと実は一瞬とまどったんですよ、実はファミリー委員会を立ち上げの要請の中で、親睦委員会と S A A 委員会と合同でやるという事で・・・ただ主になるのは親睦なんですけれども、S A A と今の所は共同でやっているという状況です。今年は家族例会というのは年に二回ぐらいあったんですけれどもクリスマスとか花見とかで、クリスマスは華やかでいいんですが、年末結構押し詰まって忙しい方もおられるので、今年度は正月の初例会を正月の初めだったら余裕あるんじゃないかと云う事で、今年は初例会を家族例会として、例会をもちろん例会場でやって例会の状況を家族の方に自分達はこのように例会を段取りしてやっているんだと、見てもらってそのうち懇親会にうつるという計画をしております。それと4月30日にうちの方で有名ですけど橋本の子安の地藏さんなので・・・お寺の観光客の花見のお客さんが帰るのを待って閉門後、ロータリーに全面開門してもらってライトアップされた花見（家族を呼んで）をします。それと物故会員の法要を家族を招いて慰霊祭と家族会をしたらわりと好評だったので、もう一度今年もファミリー委員会で段取りして物故会員の慰霊祭と家族のファミリー例会をやろうとして着々と計画しております。それとファミリー会を盛んにするひとつの意味は僕らなりの対策なんですけれども会員の状況と退会防止策の一つの目的であるんじゃないかと思っています。ファミリー会をやるのであれば家族の理解と次の人に知ってもらう為の目的にそったことでやろうと云う事でハイキングクラブを2年前立ち上げて年2回家族を含めたハイキングを行っております。

す。今の所そういう状況です。

成川委員長：ありがとうございます。今法要の話が  
でましたが他のクラブでも物故会員の法  
要を何らかの形でやっておられる方はい  
ますか？



高野山ＲＣ：うちの場合は元会員の子供さんが全部メンバーになっていま  
すので、だからどうしても身内のことなのでやりにくく・・・だから  
当クラブではできないと思います。

成川委員長：ないですか？ やってるクラブもあるんですよ。例えば５周  
年ごとにですね。亡くなられた元会員になりますけども、息子  
さんが入ってる方もおられますが 他の人を呼んでクラブが主体に  
なってお寺で法要やっている所ありますか？それは５周年ごとに  
やってるんですか？

高野山ＲＣ：ＲＣもちろん周年事業はやってますが・・・５周年・１０周年  
と云うのはやっておりますけれども・・・それ以外はちょっとね

成川委員長：それでいいんですよ 周年のときに法要例会の方・・・ありま  
すか・・・

粉河ＲＣ：私どもの所は法要とかはやっていませんが今回初めてなんですけ  
ども、メンバーの奥様が亡くなられた命日に（お誕生日のお祝い  
代わりに）会長とお参りに行かせて頂いております。

成川委員長：中々今年の会長さん大変ですね！お誕生お祝いからそういう細  
やかな心遣い いいと思いますよ、ありがとうございます！

橋本紀ノ川 R C : 私共のクラブは基本概念と致しま

してメンバーがロータリー活動をしてい

く上で家族の皆さんの理解がないと中々

しづらいと云う事で、もともとが家族例会

ですね今力を入れております毎年の恒例行事

と致しまして秋に、まったけ例会、今年は7月の初例会には紀ノ川沿いで

すのでそろそろ鮎も食べられるころだと云う事で初例会として鮎料

理を楽しんでいただきました。これからの予定と致しましては、

今年はちょっと年末に忘年会もむつかしいと云う状況ですので、

新年の初例会を致しまして、これから鍋料理が美味しいございます

から・・・今まで過去の鍋料理を囲んだ家族例会を見ますとカニ

料理、クエがあり自分が親睦委員長をするにあたり何が残っているのか？

ふぐが残っていた・・・今年は新年初例会と致しましてふぐ料理！

まだこれは構想段階なんですが ふぐ料理を食べに行こうかなと

考えております。もともとから家族例会に力を入れておりますので

でメンバー数22名で家族例会となると、30名以上 35名位

出席して頂けるんじゃないかと思っております。 現在ではロータ

リーファミリー委員会の考えといたしましては退会者にも声をか

けて理由も聞いておりますけれども 私自身 退会者は いろん

な理由があって辞められている中で果たして声をかけていいのか

どうか今も悩んでおります 以上です。



成川委員長：退会者の方にですね その辺 皆さんどうですか？

粉河 R C : 一応全員に声をかけました やはり橋本紀ノ川 R C の方の言われ

た通りの事もありますけれども、この人に声をかけ、あの人に声

をかけないという事は悪いので全員に声をかけました。事情があ

って辞められた方や自然に辞めた方など色々ありますが・・・自然

に途中で辞められた方などは行っても心よく迎えて頂いて話をし

てくれました。 又 嬉しかったと云う声も聞きましたので逆に

よかったなと思います。



成川委員長：まあ声かける場合は言いにくいですよ  
ね 実際 辞めた時の理由があります  
すよね 色々とやはり声をかける時は  
全員にかけないと仕方ないですよ・まあ深く考えないで も  
っと簡単に考えて！・年経ってきたらその人もわかってくれる  
かも知れないし、チャンスになるかも知れないので まあそう  
言う事で・・・一応 各クラブの方からロータリーファミリー  
活動いわゆる親睦活動がほとんどございました親睦活動をどんな  
形でやっていこうと云う事でございますけども・いわゆる社会  
奉仕活動、にロータリーファミリーを巻き込んだというような活  
動はないですか？

高野山ＲＣ：高野山の場合は 河川の掃除の時は家族のお子様とかを巻き込  
んでやっておりますけれど・

成川委員長：それは前からですか？

高野山ＲＣ：もう ずっとです

成川委員長：そうですか

橋本紀ノ川ＲＣ：うちの場合はですね。高野口で毎年歩行者天国が開かれる  
んですけども、その時に町のクラブとしては、麻薬撲滅キャンペ  
ーン活動を行っていると同時にバザーをいたしましてメンバーそれ  
ぞれが商品を提供いたしましてバザーをしております。その一部  
を麻薬撲滅キャンペーンに役立ってもらう、そういう企画をして  
おりますんですけど、その中で家族の方も参加して頂いております。

成川委員長：どうですか？他にそういう・・・

案外社会福祉活動には、従業員でご参加して頂いている方多いですね。



岩出 R C：岩出なんですけども　ずっと　プール

例会と云うのを毎年・・・そういう時に　もちろん親睦委員会だけじゃなしに今年も奥様方に朝から出て来て頂いておにぎりを作って頂いたり、皆協力やってもらってるんですよ。それで2月にはまた別の社会奉仕の委員会とこの親睦委員会で合同で身体障害者の方々を招待致しまして、ボーリング等を・・・そういうのを2月に計画はしてるんですが・・・それも家族の参加です。

成川委員長：岩出さんが言っているファミリー委員会に色んな目的があるんですね。今おっしゃった様な親睦活動委員会で会員の輪を作ってそれで一つの企画をやっていこうという・・・そして、それを段々広げていこうとする事が退会防止にも?がっているんです。けれども・・・この辺で亀岡さんご感想を！

亀岡パストガバナー：私が調べました　ロータリーファミリーに関する調査結果をお話しておきますと地区は2630地区といいまして、これは岐阜県と三重県全域ですが　ここがロータリー家族委員会、要するに親睦委員会に属してるところがあれば、特別にロータリーファミリー委員会を作っているクラブもあれば、あるいはクラブ奉仕の中で、やっている所もあれば、あるいはS A Aの中に入っている所もあれば、あるいは社会奉仕と一緒にいる所もあれば、職業奉仕と一緒にいる所もあります。　やはり一番多いのは、新たにロータリー家族委員会を作ったのが約20%～25%　要するに2630地区・2640地区・2660地区・2760地区のこの4地区を平均してみると、新たに作ったのが約20～25%ほとんどが親睦奉仕の中に入っているというのが



現状です。かわったのが今言いましたように社会奉仕の中に、S A Aの中に入っているとか言うような所がありますけれども、こう云うのは特殊なものであると考えられます。そこで2630地区は



100%設置してます。2640地区は92.1%6クラブは設置しておりません。ここのIM4組は全部設置しておりますけれども設置していないところがある、それから2660地区は80.2% 2760地区は96.3%だからこんなもの必要ないよと云う所もあるわけですね。そこで次に先程から家族の情報というものについて例えば奥様方の誕生日には花束を贈呈しているとかというような事はございますけれども、皆さんに僕がちょとお聞きしたいのは、その家族の誕生日奥さんなんかの配偶者の誕生日はよくお解かりでしょうけれども、例えば結婚記念日とかあるいは子供さんお孫さんの数というような、いわばファミリーに対する情報というものをだいたいクラブで把握しているかと云う事ですね。ところがそれを把握しているというのが、だいたい70%~80%位は把握しております。ところが20~30%は把握していないんですね、それから亡くなられたロータリアンの配偶者の追悼行事なんかを計画していますかと云う事に対して、先程追悼行事していますよ、という所もありましたけれども、これは非常に少ないです・・本当に少ない当地区ではクラブ中13クラブですやっていると云う所は・・・・・という非常に少ないと云う事がわかります。それから特に物故会員の遺族に対してロータリーの行事に招く機会を設けたりあるいは熱心な週報を送っていますかと云う問いに対して、これも非常に少ない、やっている所は当地区ではクラブ中17クラブだから、会員に対しての取り扱いといいますか、ご配慮と云いますか、これがどの地区も全部少ないです当地区だけではありません・・どの地区も非常に少ない、だから20%位というところじゃないかと思います。例会に家族

を招いたりと言う事は皆さんおやりの事です。特に親睦会というものは、非常によくおやりになってあらゆる手を尽くして親睦されているという事はどのクラブでもほとんど100%見られています。



ただ社会奉仕的なもののクラブが社会奉仕をすると云う時に家族やそういう風な方を、一緒にやっているかと言いますとこれはね・・よくやってるんです。ところがデーターにあまり出てこないといひますのは環境保全の方から例えますと家族と一緒にやっている、あるいは地域の人を巻き込んでやっているという風が多いわけです。だから実際問題としては、やっているんだけどでもデーターには余り出てこないというのが現状ではないでしょうかと僕は思います。それからクラブの奉仕活動に対してロータアクトとかインターアクト、これを提唱しているクラブがこの内では高野山・橋本紀ノ川・橋本こういうような所は一緒に奉仕活動やったり、あるいは例会に来てもらったりという様な事は、やっていますね。僕がガバナーやりました時に橋本の方回らせていただきました ・・そんな事も色々お話させて頂きましたけれどもいかがですか？

橋本 R C : インターアクトとロータアクトは場合活動拠点は高野山にあり、  
ちょっと橋本とは交通アクセスの問題で遠いので ・ ・ ・ ・

高野山 R C : ご説明致します、インターアクトの方はよく一緒にやるんですけどもロータアクトの方が、先細りぎみです。二人しか ・ ・  
それぐらいしかメンバーがいないので ロータアクトの方は見直そうかなという話もでておりますので ・ ・ インターアクトの方は高野山高校のインターアクトとかなんかとは一緒に活動なんかもさせても頂きますし、そこへロータアクトの二人がくるんですけども現実的には戦力としては、もうないのでどうしてもインター

アクトの方が大事になってしまいます

亀岡バストガバナー：インターアクトとかはよく  
おやりになっているの分かりますけれ  
ども その他のロータリーの学友とか、



あるいはG S Eの帰ってきた学友あるいは青少年交換、こういう  
風な方達をロータリー家族として行事に参加してもらおうというよ  
うな事をおやりになっているか、どうかという事に対しては、こ  
れも割合どこの地区でも多いんですね。よく参加してもらって  
一緒にやっているというのが現状です。やはりそういう様な方達  
をロータリーファミリーとして一緒にやればいいんじゃないか  
なというような気が致します。その他に他の方からお話あるかと  
おもいますけども、案外会長賞もらう為には、ロータリーファミ  
リー委員会が必ずクラブになければならない、そのうちどうい  
う風な奉仕をしていなければならぬかと云う事もあるかと思  
いますので、また皆さんがご存知であれば いい訳なんですけども、  
そういう事も含めてひとつよろしくお願い致します。

成川委員長：ありがとうございます

若い会員がですね・・・ロータリー活動に使う時間とむこうであ  
れば、ボランティア活動が多いんでありますけれども・・・欧米人  
は家族に使う時間大切にするでしょう、だからロータリーばかり  
に時間使うと・・・だから会員が減るんじゃないかという考えがあ  
るんですよ、家族を入れて一緒にロータリー活動すれば家族と  
ともに過ごす時間も増えるかと、そういうねらいもあるわけです  
それは多少日本と違う日本でも最近、若い人と言うのは家族を大  
切にしますからどうしてもロータリーに入ってもロータリー活動  
に時間とられるのがいやがっている傾向もあるので、ロータリー  
ファミリー委員会の活動を考えていこうという事もあります。そ  
れでロータリーファミリー的な家族会社の方、あるいは地域の方

にロータリーファミリーの考えを広めて  
いって・・・何がみえますか？ どう云  
う目的 何が見えてきますかと話をしま  
したけれど、その辺についてご意見があ  
りましたら、お伺いしたいと思います。  
けれども今度逆に紀ノ川さんどうですか？  
ロータリーファミリー活動から見えてくるもの・・・



橋本紀ノ川 R C : う～ん 難しいですね。ちょっとその質問から外れるかも  
知れませんが、このロータリーファミリーをしていく上で  
先程 岩出さんでしたっけ・・・奥様お亡くなりになられたそうい  
う方が例会を出席・・・家族例会は難しいと言う話をされていまし  
たけれども、私共も別の意味で奥様がいらっしゃらないという会  
員がおられますが、粉河さんが奥様の誕生日に花束をさし上げる  
って非常に僕はいい事だと思うんです。けれども果たしてそう云  
う奥様がいらっしゃらないと云う、メンバーのことを考えますと  
私共のクラブとしましては 僕はやりたいんですけども、ロータ  
リーファミリーとしてやりたいんですけども、そういう意味で  
どう対処していいのか何かアドバイス等ありましたら頂きたいの  
ですが・・・

粉河 R C : 実は親睦の副委員長の岩田さんの奥さんが亡くなられて、非常に  
悲しい時に親睦副委員長として同じクラブで今年亡くなられた奥  
様の命日におまいりをして頂きました。岩田さんどういう感じで  
したか？

粉河 R C : 実は私の女房が 8 月 2 9 日に癌でなくなっただけですけども、私  
はこういってはなんですけども・・・とにかく勇気を持ってと、  
メンバーの方々特に奥さん方にも励ましを頂きました。実は早速  
先だったの日帰りの家族会ですが、私の担当なものですのでバス

の中で慰安のカラオケとかそういった事の中で、できるだけそう云う事を抑えて  
勇気を持って、この間もやったわけなんですけれども、まあ辛いのは大変辛いです。おそらく言葉には出せないくらい壮絶な思いでおるんですけれども、これを思っておっても、自分のことですのでこう云う事を顔に出すとかえって、皆様にご迷惑になるかと云う事で・・・出来るだけ会へ何年か務められるだけ  
勇気を持って出来るだけ務めたい事と、一生懸命おもっております。それくらいしか思うことがないので・・・まあ 一生懸命が  
んばってやっております。



成川委員長：ありがとうございます まあそ云う思いやりを持つ必要ありますよね。みんな同じであれば、いいんだけどもそういう方もありますので、その辺配慮も必要ですよね。

橋本 R C さんどうですか！

橋本 R C：ファミリー活動を通じて見えてくるものって、僕は全体的な姿っていうかこれは他の方どう思っているか分かりませんが、私だけに限った感想は、実は橋本は韓国のコチュアンロータリークラブからの姉妹提携としてお互いに交流して今年は30周年でしたかな？姉妹提携30周年の交換と云う事で奥さんをつれて橋本から訪問しようと、うちの家内も初めて参加させて頂いたんですけれども、他のロータリアンの奥様方と朝晩一緒に行動するという初めての経験でしたが帰って来て非常に喜んでいました。その時ある程度のお付き合いもあったんですけれども・・・3泊4日の旅行の中で色々助けられたり気を配っていただいて非常にロータリーに対しての理解度と言うものが、これを機により高まって非常に



よかったですと思います。副委員長の奥さんは事情があって行かなかったんですが、彼は帰りの飛行機の中で5年後には絶対俺は嫁はん連れて行くよと云っていたので、はたから見ても奥さんが7人参加してくれたんですけれども雰囲気よかったんで、彼もそういう発言が出たんじゃないかとおもっています。やはり自分の活動特に外部ロータリーの交流というのは全然、家内に見せないのが当たり前で今回、外国のロータリアンと接触して非常に色んな広い意味のロータリーの活躍をちょっとは理解してくれたんじゃないかなと思っています。



成川委員長：そういうのをどんどん広めていく事ができたら、我々ロータリーの目標なんですね。ありがとうございます . . . . .

打田 R C：解答というか返答にならないと思いますが、ご承知の通り私の所は例会は夜なんですね。7時から1時間という事で、私はたまたま先程も言った通り一年程前に自分の大学の同窓会があった時に、こういう形でこういうクラブに入ったんだと活動内容報告致しますと、夜に活動するなんてフクロウか僕ぐらいなもんでと、半分冗談、半分あたっているかなと苦笑いしてきたんですけれども、確かにメンバーの集まってくる色々な仕事の事情等から色々ないきさつがあつての夜と云う事での例会時間というのが確定したんじゃないかなと思うんですけれども、それはそれでメリットもあるわけですが、しかしその私に何人かのフクロウかとも発言した同級生からすれば、やはり一般の地域の方には私達の活動は全く見えていないなと云う事を思い知らされた一つの機会でもあったわけです。そういう意味で先程から言ってますロータリーファミリーの活動というよりも、私達の課題というか目的はむしろ昼間の活動も取り入れながら地域のボランティア活動、若い人

たちの活動もっと見える形で、活動状況を一般の方に見える形で動きをするというのが、私たちの最大の課題だなと思います。ファミリーはよそとの比較と云うのは難しいですけども、割りに皆さん家族の理解はえられておって、退会するというメンバーはだいたい基本人数が少ないというのもありますけれども、そういう動きがないと・・・辞めて行きたいという動きはない中で・・・委員会としての方向的には、はずかしいんですけども、むしろ私達はファミリー活動ロータリーファミリーよりも地域を巻き込んだPRを兼ねた自立活動というのが私達の課題かなというような事を感じております。



成川委員長：地域の人を巻き込むというのがロータリーファミリーですからね。ただまあ見えるか見えないかはその辺はなんですけれども先程言いましたけど、夜の例会ただ夜に活動するというんじゃなく、例会というのはやっぱり、そこでお互い情報交換して研鑽する場ですのでね。それは昼であろうが夜であろうが朝であろうがいいわけですね！目に見えないというのは、ライオンズみたいに団体でバァーっと、やるんじゃなくて皆さん方例えば、クラブなりにあるいは自分なりで活躍しているんですね。それがロータリー職業奉仕にもなっているわけなんですよ。そういう風にお互い言って頂ければいいですね。よくやっていけると思いますんで・・・よろしくお願いします。

打田RC：ありがとうございます 私も まだまだ一年生でまわりは全部先輩ですので、打田RCはすごいという意味で・・・云っているのではないわけです。個人的な認識の浅さという事で一つご理解頂けたらと・・・

成川委員長：立派なロータリアンですね。色々吸収してください、ありがとうございました！ 高野山さんどうですか？



高野山 R C：実は恥ずかしいことなんですけれども、うちのクラブの副会長が退会になりまして、その退会者のことなんですけれども、僕が代理副会長にあがったんですけども退会した人に色んな話聞いてみますと、未だに気になるですね。ロータリーの事を「今どないなっとるんよ」とか「どんな仕事入ったか」とか聞きに来るんですよ。それに対して答えてるんですけどもう一回入ってくれるチャンスがあるんじゃないかなってよく此の頃思います以上です。

成川委員長：ご時間がせまってきましたんですけども、 岩出さんどうですか？

岩出 R C：ロータリーファミリーで見えてくるものって言いますと、今まで親睦活動委員会と云うのは周年家族例会と家族旅行 年二回位だったと思うんですよ。後は社会奉仕で先程言ったお手伝いをする時が、そのような形で家族の人がロータリーのそういう会へ出て来る機会が少ないと、だから今年はとにかく家族の人、子供さんからお孫さんから奥さんから、とにかく参加してもらおう格好でやってきまして今まで10人か15人ぐらいの奥様方が来てるだけだったんですけども、それに出席してない奥様方が家族の皆さんが参加してくれましたんで・・・これがやはりロータリーの活動を理解、家族が皆、理解してくれるいい機会じゃないかなとだから、一年間を通して色んな何でも、ボーリングでも火星を見に行くとか、色んな格好でそれは親睦委員会の企画で何とかして家族に参加してもらおうという中で、ロータリーの奉仕活動というのが家族皆に理解もらえるんじゃないかなと思います。

成川委員長：ありがとうございます。もう時間がありませんので粉河さん方のはカットと云う事でいいですか？・・・  
ありがとうございます。もうちょっと時間オーバーしておりますので1時間という短い時間の中で色々



とお話頂きました。まあその親睦活動、ちょっと先程も話の中で言いましたが、いわゆる一般的に云うと親睦ですね。何かするんやったら別にロータリー入らなくても出来るわけですよ。なんでロータリーで親睦が必要かと云う事を考えて欲しいんですよ。一般的には親睦活動というのは色々な家族会とか色々な旅行とか活動していますけれども、一番大事なのはやっぱり例会、例会は親睦活動の基本なんです。だから例会でいかに皆さんが友情を深め情報交換して自己研鑽の場であるという風に考えていくのが本来の親睦活動ファミリーである。それ以外に家族会なり旅行なり・それはあくまでも目的である手段であるという・・・目的はやはり、ロータリー活動をやっていく為の親睦であると云う事でございますので、その辺ちょっと時々、お間違いなされてる時もありますので、何でロータリーの親睦が大事かロータリーでなければ出来ない親睦ありますよね昔からそれをいわれています。先程も言ったように例会というのは、人生の道場である。そういうとらえ方で親睦活動をやっていきたいと思っております。私の時の会長さんがですね、その資料を持っておりますのでもしよければ、また見て頂ければありがたいと思います。もし必要であれば、私も持っておりますので、お渡しいたします。それでは時間5分オーバーしましたがけど ありがとうございます！

司 会：それでは 皆様、ありがとうございました。

終わりにあたりまして、この勉強会からお帰りになりましたら各クラブで今日のロータリーファミリー委員会について会員の皆

様にお伝えし、理解を深めて頂くと共に、メンバーのみのロータリー活動でなく、より幅の広いものにして頂けたらと存じます以上、つたない司会でしたがこれを持ちまして部門別会議を終わらせて頂きます。

今日は また 遠い所 お忙しい中 成川様 亀岡様 豊澤様 楠見様 そしてご参加の皆様ありがとうございました。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**





## 米山奨学委員長会議

### リーダー

- ・ パストガバナー 堤 啓治
- ・ パストガバナー 前田 孝道
- ・ ガバナー補佐
- 地区米山記念奨学部門カウンセラー補佐 松下 光晴
- ・ 地区米山学友委員会委員長 田村 弘

### 参加者

- ・ 高野山RC 三星 博業
- ・ 打田RC 佐々木敏宏
- ・ 橋本 RC 曾和 正
- ・ 岩出RC 谷川 芳昭
- ・ 橋本紀の川
- ・ 粉河RC 野崎 丞
- RC 平越 孝平
- ・ 東岡 英好
- ・ 中谷 新治

司会 稲田 喜久（粉河RC）

司会： それでは、これより約 1 時間宜しくお願  
致します。

松下： それでは私の方から米山奨学会についてご  
説明をさせていただきます まず初めに 本日

大丸パストガバナー・河合委員長さんが所用の為、欠席しております事を報告  
させていただきます。最初に今日 出席されて居られますパストガバナーさんより  
米山奨学会についてのアドバイスをお願いします。



堤： それでは簡単に説明させていただきます。皆さん米山奨学金制度と言うのはご存じ  
だと思いますが、選考委員会に私が出席をした時に感激した事がございます。  
これを 1 点だけ申し上げたいと思います。中国から来た方で、たしか 35、6  
才の女性で子供を本国に置いて来られた。そして彼女いわくには、私のお爺さ  
んは京都大学を出ています。それでお爺さんから聞いている日本の事と今の現  
状とは違うのではないかと言う事で、是非 私が日本に足を運んで自分の目で  
確かめたい。という風な方が居られまして、そういう方が居るんだなと感激い  
たしました。非常に日本独特の米山奨学制度が有効に働いている様に思います  
今後とも御協力をお願いします。

前田： 私も米山奨学生の採用試験、それからいろいろな会合に出席させて頂いて思う  
のですが、この米山と言う奨学制度は我が国独特の制度でございまして、この  
奨学金を得て大学を卒業していった多くの方も居ますし、国内に留まって学友  
として活躍して頂いている方も沢山ございます。一番多いのは韓国からの米山  
奨学生です。それから台湾・中国、その他地域の方は 4 分の 1。韓国・台湾・  
中国が 4 分の 1 ずつ占めております。今、堤さんのお話にもありましたが、米  
山奨学生が日本で勉強して自国に帰ってからの日本への感情というものが、ど  
うであろうかと言うと、いささか有り難かったと言う感謝だけの人とは限りま  
せん。中には勉強するにはしたけれども「寂しかった」「嫌な思いもあった」

とか、そういう方も多いし、日本で勉強して来た事をひた隠しに隠している方もあると承っております。私は米山奨学生が胸を張って日本で勉強してきた事を堂々と言って頂きたいし、そういう風に日本の国内で日本人が暖かく米山奨学生を大事にして、そして それぞれの国へ帰してやって頂きたい。こういう事を切に思う次第で御座います。私の感想を終わらせて頂きたいと思います。

松下： それでは私の方から米山奨学会について流れや現在の状況を話させて頂きます。皆さんもご存じの通り、1952年に米山梅吉様の功績を讃えて出来ました基金。1967年に財団法人ロータリー米山記念奨学会として文部省からの認可を得て、現在までに96ヶ国から11540名余りの奨学生にロータリアンの寄付をもって支援をしてまいりました。現在は年間1000名の奨学生を受け入れております。昨今、留学生の方が急速に増えてまいりまして、日本全体で、テレビや新聞にも出ておりましたが、1983年中曽根内閣当時には1万人足らずでしたが歳月を経て12万人を突破しました。しかしその中には奨学生の優秀さ等に疑問を持つ奨学会もございます。非常に犯罪の面も増えてきているよ言う事で、米山奨学会からも私の方へいろんな要望も届いております。そういった中で奨学生は初めのうちは救貧型でしたが、現在は優秀な学生に支援するという方向に変わってまいりました。昨年度の寄付額でございますが、全国では16億円、前年度に比べて6%程下がっております。この事は1997年をピークと致しまして、経済情勢の厳しさと会員の減少によりまして年々下がって来ております。2640地区に於きましても年々減少傾向にあります。その中にありまして、昨年度は地区の目標であります二万円という目標を見事にクリアして頂きまして、2640地区の会員一人当たりの寄付額が21,544円と全国第3位という好成績を上げさせて頂いております。それから本年度で御座いますが、10月末の米山月間の終わった時点に於きまして、昨年度に比べて3.2%の減でございます。それから大きく変わってまいりましたのが、今まで米山功労者となりますと30万円の寄付をして頂いた方でした。そして準米山功労者・ファンドフェローが無くなりまして、10万円を寄付し



て頂けたら米山功労表彰と変わってまいりました。これはロータリー財団と歩調を合わせる様な形でございまして、こういう厳しい世相でございますので皆様方にご支援をして頂けるような方法をとったと思われます。それからもう1点、本年度より変わりました事は奨学生の採用でございます。昨年度までは寄付額の全国平均で割ったものが60%、地区内の大学に留学している米山奨学生の応募資格を持った学生の数で割ったものが40%で奨学生を決めておりました。それが寄付金の多い地区に多くの留学生を割り当てようという方向に変わってまいりました。昨年度2640地区では、全国約1000名の中で31名の割当枠がございまして、継続につきましては12名で御座いましたので19名の新規採用して、本年度 皆様、特にこの4組には3クラブ、橋本RC・高野山RC・粉河RCさんにお世話になっておりますが、こういう風に寄付額に重点を置くという事に成りましたので、本年度からは70%と30%その為に2640地区には2～3名の奨学生が増えてまいります。次年度継続の方は7名。それで2月に選考会が行ない新規採用が26名となります。合計33名が次年度お世話頂くことになると思います。それで本年度からはカウンセラー制度、これは米山奨学会の目玉でございますが、このカウンセラー制度をより充実して他の奨学制度にない心の通った、行き届いた奨学会にして行こうという方向にも変わってきております。まず本年度に入っているいろんな行事も2640地区で行っておりますが、まず初めに行いました事は、奨学生とクラブとがふれあいをもちにくいという地域がございます。奨学生とロータリアンのふれあいという事で訪問させて頂きました。これに付きましては非常に各クラブさんに感嘆を受けたと印象に残っております。また去年から始めた事でございますが、国際交流会という事で2640地区のインターアクトの生徒さんとのふれあいという事で昨年度は堺女子高校、本年度は羽衣学園高校で百数十名の生徒さんと米山奨学生が一同に介しまして伝統文化の交流などでふれあいを持って頂きました。これも大きな反響を呼んでおります。特に英語教室などではインド・中国・ネパールの方々などが英語を高校生に教えて頂いている。本当に良い国際交流が出来たように思います。留学生の方は非常に日本語も堪能でござ





いますが、英語も大変優秀な方が居られまして非常に意義があると思っております。それから留学生の採用募集でございますが、すでに10月15日に締め切っております、内訳を申しますと全国では1563名の申込みが参っております。そして2640地区の場合は地区内全大学に推薦権を持って頂きまして留学生に応じて割り当てております。その中から50名を枠として決めておるのですが40数名の方が2月7日の選考試験にお越しになると思います。全国的に申しますと1563名の内から応募資格に合致しているかを12月末までに厳選致しまして、2月上旬に選考試験をして26名の新規採用を決めていく事になります。そして3月に入りまして次年度世話クラブ・カウンセラーをお願いし新しい採用者のオリエンテーション。米山奨学生的心得等を勉強して頂きます。そして次年度に入る訳です。米山奨学会は段々と優秀さというものに重きを置いてきています。その優秀さと申しますのは学業は勿論ではありますが、文化を理解して頂く、或いはコミュニケーションが取れている事や地域交流・ボランティア活動にも参加頂く。皆様方のクラブに於きましても、こういうお手伝いをしてもらいたい、こういう行事に参加してほしい。或いは月間だけでなく年間を通して卓話等をして頂けたら・・・そしてやはり寄付を頂く以上、奨学生とロータリアンとのふれあいの機会をもって頂けたら一番結構な事だと思っております。先程申し上げましたが、後程時間が取れる様であれば奨学生の事、或いは奨学会にタイする希望なり感想なりご意見を頂戴したと思えます。そういう面から本日は忌憚のない意見を出して頂けたらと思います。それから米山奨学会からは別の事で御座いますが、水田ガバナ一年度の時に米山記念館というのがございます。その運営資金でございますが静岡県地区の方々がほとんどの資金を出して頂いていたのですが、新しい館ができ大変金銭的にも窮屈だという事でございまして、今年 来年 再来年と一人当たり100円を記念館の方へ支援するという事が全国的に決まっております。本年度にほとんどのクラブさんから もうすでに頂いておりますが、まだのクラブさんがありましたら宜しくお願いします。静岡県のクラブさんには大変お世話になっていましたので皆さん宜しくお願いします。いろいろと寄付の事ばかり申します





が現在の厳しい経済情勢の中宜しくお願いいたします。あまりお金の話ばかりしますと皆様にヒンシュクをかう恐れもありますので、この辺で私からの説明を終わらせて頂きます。この後、田村さんの方から宜しくお願いします。

田村：今年また復活しました学友会の世話をせよという事で委員長を預かりました田村で御座います。何分初めてでございますけれど、今2640地区を含めまして、国内19 外国に今現在韓国と台湾の学友会がございまして21の学友会が存在する訳でございます。先程も松下委員長からの説明にありました様に各カウンセラーによりまして学友会の名簿や連絡が非常に充実させて頂いておるのも皆様のお陰だと思っております。また今年3月に卒業される方も沢山ございますので、その辺をカウンセラーさんで出来るだけ密な連絡を取って頂いて学友会との連絡役に是非お力添えをお願い致します。特に米山を離れまして2～3年経つと音信不通になったり、そういう横の連絡が取れなくてメールだけで済ますところもございますので、今現在 地区でも横の連絡は着くんですけど中には着かない方が3～4名います。そういう事で出来るだけ我々の横の連絡で・・・今度12月7日にOBの方々を一同に集めまして親睦会を大阪でもつ予定をしております。また米山のハイライトという資料が各クラブさんに届いていると思いますが、この中にも今年米山の学友でございました大阪芸大の羽曳野RCでお世話頂いた方ですけども、ストックホルムの国際映画祭に自分が製作した映画が正式に推薦された。と言うように非常に一生懸命にやっている方もございますので、是非 皆様方の横の連絡等を含めて学友会への協力をして頂きたいと同時に、皆さんの方で卒業した学友に対して要望事項がございましたら、是非 忌憚のない意見をお聞きしたいと思っております。以上です、宜しくお願い致します。

松下：それでは私の方から・・・今まではカウンセラーの研修制度というものがあまして、カウンセラーとしてのいろいろな事は聞かせてもらっているのですがクラブ委員長さんやカウンセラーになるロータリアンの方々から・・・本年度



お世話になっております、橋本・高野山・粉河RCさんから奨学生についてのご感想をお聞かせ願えたらと思います。まず初めに粉河クラブさん。鄧 洪麗さんを去年から続いて2年お世話なさってますので、この方についてのご感想やいろんな意見をお願いします。

粉河RC：鄧 洪麗さんですけれども、もう大人の女性ですので もう既に形成されていると申しますか、大変 日本語もお上手ですし頭の良い人という印象を受けております。

松下：クラブ全体として留学生を預かって良かったと言う感想が多いのですか？

粉河RC：そういう事は実際メンバー全員に聞いていないので、はっきり言って判りません。

松下：次に橋本クラブさんに戴 桂明さん、中国の方で和歌山大学生が居られます。

橋本RC：彼は気さくな感じの方で日本に来てもう7～8年経っている様ですので日本語も普通に話しています。特にクラブ位からの苦情とかも聞いておりません  
一般論として過去お世話した方が全然連絡がないと言うのは、勿論ある訳なんですけど・・・それともう一つ、クラブの中では・・・お金の話なんですけど話題が少しづれるかもしれませんが、バブルが弾けたのに いつまで同じ金額を上納させるのかと言う話は常々あります。と言う事であります。

松下：と言う事で、お金の話になってまいりますが1000名という対応数・・・いろいろな事を米山奨学会でもいよいよ検討していかないと・・・額を減らすか、人数を減らすかという様な段階に入っております。常識的に考えておりますのは、年間米山奨学金として20億円という金が要ります。奨学金として使うのが17億円ぐらいですが、諸々の経費が要りますので・・・20億円という金が



現在では16億円の寄付しかありません。これに付きましては今までに蓄えた特別積立基金などを取り崩して補填しており、いよいよ改正せねばならない時期に来たなと感じております。米山奨学会でも議論の対象になっております。厳しい世の中で非常に難しい事だと思います。

高野山RC：中国から来られた女性の方で、確か40才くらいだと思うのですが、先程お話されました事と同じ様に気さくな方で、かなり勉強もされているみたいだし日本語も堪能ですし、クラブの方にも月1回は必ず出席するように要請もしております。その折りに卓話並びに現状報告等をしてもらっております。ただ内のクラブの方では極力ゲスト席に座ってもらうんじゃなく、みんなと席を共にして食事中に会話のもてる様に工夫をしております。今年も高野山は米山月間が終わった時点で、一人当たり2万円の目標額を超えさせて頂いたと思うのですが・・・高野山大学がありますので結構奨学生を預かる事が多いのですが、今までに来られた方にも永くお付き合いをされている方もございますし、只やはり橋本RCの方も仰ったように、徐々に厳しくなっているのではないかと感じております。以上です。

松下：高野山大学は各年くらいに応募資格のある方が来られると思うのですが・・・私共と致しましては地区内18大学ありまして、その全大学から推薦枠を設けまして応募いただく様な事をとっております。地区によりまして2～3の大学に偏って行っている所もありますが、2640地区では全大学でお世話になるという方向をとっております。当初は韓国・台湾が多かったのですが、現在日本に於きまして香港が中国返還となり、日本が留学生と取るようになりましてから中国が圧倒的に多くなっております。60～70%の留学生が来ております。米山奨学会としましては1国50%を超えないような対応をして下さいと申し合わせではなっていますが、現在でも超えております。そういう点、特に世話クラブ・カウンセラーをお願いするにあたり、大阪地区に偏って奨学生が多いという声もございます。昨年は和歌山も多かったのですが、今年は和歌山



大学も少ないという傾向になっております。次年度26名もの採用をしますと活きよい盛んなクラブさんをお願いせねばならないのかなと思います。米山奨学会としましては、クラブになるべく負担の掛けない様にということで考えております。宜しくお願い申し上げます。それから他のクラブさんで本年度お預かりしておりませんが、米山奨学会やその他の事についてご質問等ありましたらお願いします。

参加者：米山奨学生のクラブ推薦という制度はないのですか？

松下：以前、3年前までは2640地区もクラブ推薦制度でございました。しかし全国13地区、大学の多い地区でございすが大学推薦制度というものを取り入れました。これに付きまして検討した結果、非常に良かったという事で全地区で大学推薦制度を取り入れております。大学推薦制度を取り入れて何故良かったのかと申しますと、今まで2640地区でも応募資格のある方が200名程あります。そうしますと応募して頂いて私共の方で全て調べるというのは非常に困難でございます。それと優秀性という事になってまいりますと、選考試験に於きましても専門知識が非常に難しくなっております。大学で推薦して頂きますと本当に優秀な方を送って頂けるという事でございます。大学推薦制度になってから人数が50名程度に絞れて選考試験もしやすくなります。しかもいろんな労力、書類選考等いろんな事をしてまいります、それが簡素になった。全国的にまた米山奨学会としまして非常に助かったという結果が出ておりますのでクラブ推薦制度というのは、到底考えられない事であったと思っております。

参加者：クラブ推薦と大学推薦を併用できるのではないですか？優秀性というのは大学院の入るだけの成績があれば優秀と言えるのではないですか？結局大学なり大学院に入って、その制度の知らない優秀な生徒が、教授に馴染みがなければ推薦してもらえないという場合もあるのではないですか。



松下：国際交流科というのは、どの大学にもありますが、そこで選考して頂いているというのが実状でございます。

参加者：そういう矛盾があるのではないですか？

参加者：クラブ推薦と大学推薦の制度事態を比較してみると、大学推薦の方にもデメリットがある訳ですが、クラブ推薦の方がデメリットが大きいと云う訳ですか？

松下：そうですね。それで13地区で3年間試行した結果をもって、全地区が移行しました。米山奨学会の中にも色々な委員会がありまして、今日お聞かせ願えた事はカウンセラーや理事にはお伝えしておきます。

参加者：細かい事なのですが、大学は沢山あります。確かにレベルの差があると思いますが、奨学金をどの様にしているのか？授業料等も違うと思うのですが。

松下：米山奨学会としましては修士課程と博士課程の方には月額15万円、学部の方は12万円の支給をしております。

参加者：大学院は15万円、大学は12万円。これくらいの奨学金でしたら授業料は免除になっているのですか？

松下：国公立大学の場合は一部授業料が減っていると思います。これにつきましては大阪地区の奨学生交流会等に出席しました時に「ロータリーアンの皆さんから寄付して頂いて、支援してもらっている金額から授業料を取るとするのは非常に心苦しい」と云う意見も出すのですが、大学側と致しましては否定も致しませんし、大学で決めた規定通り所得として見なして授業料を取っていくという





具合でございます。

参加者：所得になるでしょう。ですから一概に免除という訳にはいかないでしょう。

この方は奨学金制度に値する人物であると大学が決める時の所得にも依りますよね。

松下：アルバイトとか色々な収入全部調べております。日本にも12万人を超える留学生を受け入れる様になりまして、優秀性という事で、まず出稼ぎという様な感じの留学生の問題。その件に付きまして米山奨学生に関しましてはそんな事のない様にいろんな気を使っているのが現状でございます。

堤：個人々並びに学校によって授業料の免除の度合いが違うようです。そして今ご質問で言われている様に、仮に19人取りますという時に上から成績の良い順ではございません。今までの貢献度と言いますか、色々の事を加味して最終決定をしております。出来るだけ学校が偏らないよう、国も偏らないように充分チェックしております。

参加者：その段階でクラブ推薦のある方も採用できるのではないですか？

堤：それは2640地区だけでなく、他の地区も同じように行ってますので、今後の課題としては聞いておきますが、その時点でクラブ推薦を加味しろというのは、今現在では不可能だと思います。今後の問題として考えるという事でご了承願います。

参加者：メリット・デメリットというのは良く分かりますが、クラブ一人当たり2万円の寄付要請しておきながら、そのクラブ関係の留学生が来て大学に入っても推薦が無理なのですか？

松下：今の米山奨学金制度では出来ません。



前田：でも大学に推薦願いの陳情は出来ます。

参加者：仰る事は良く分かるんですが、先程から出ている奨学金の寄付ですけれども一生懸命出しているにも係わらず、クラブの意向が反映されている様で反映されていない。だから皆さんからの疑問や不満が出てきているのではないかと思います。

松下：ご寄付である以上、強制できるものでもありませんし・・・

参加者：米山の出来た意義を考えてもらえば、クラブで勿論推薦出来るのでは・・・

堤：まず学校にお願いして、クラブからこういう方を学校から推薦して頂きたいと地区にご報告下さい。そこは充分に考慮いたします。

参加者：解りました。どういう事が出来るか考えてみます。

参加者：それは、やはり考慮すべきだと思います。やはり各クラブからお金が出てくるのですから、全部学校で決めて行くと全く我々無関心になってくると思います。だから何らかの形で繋がりがあって良いのではないかと。やはり良い方があれば各クラブで推薦をして、ある程度考慮して頂きたい。最終選考については、勿論学校なり各委員の方に決めてもらったらいのですが。各クラブからの意向もある程度汲むような制度に変えていった方が、もっと皆さんが理解してくれて協力して頂けるのではないかと思います。一方的にお金を納めるだけで、全くこちらには何も無い。それが今の不満の理由になっていると思います。その点も考えて頂きたい。

前田：先程、委員長から話がありました、学業が優秀である事・日本語が堪能である事・ボランティア精神があるかどうか。いわゆる、大勢の人と



手を取り合って生きて行こうという姿勢がないと、自分だけ良ければいいでは  
・ ・ ・ そういう事が選考の基準になってくるのではないかと思います。

参加者：そういう事を解った上でご質問しているのです。何も悪い生徒をクラブが推薦致しません。

松下：なるべく米山奨学会にそういう意見が伝わるようにしたいと思います。

堤：米山奨学生の場合は応募者が多数、東南アジア方面から沢山来ております。しかし財団の方の交換学生、その他に関しましては全然欧米からは来なくなっております。と言うのは、日本の大学を出ても国へ帰って仕事に結びつかないという事が現実起こってきております。日本へ行ってもダメだ。同じ留学してヨーロッパに行った者は帰ってくると皆が仕事に結びついている。という事で非常にこの大学教育というものが問題になっておりますが、それが非常に顕著に表れております。財団の方もそうですし文部省もどんどん応募者が減ってきております。これは我々の力ではどうする事もできないので、一応皆さんの耳に入れておきます。12万円という金額は中国ではお父さんの年収です 大体、上海からその近辺では月収が日本円で1万円程です。

松下：米山奨学生を預かって頂いたら、いろんな事を聞いてもらったら結構なんです 私も永く米山の地区をさせて頂いておりますが、今年初めてカウンセラーをしています。聞きますのに、日本に来て5年が過ぎ、物も食べずに勉強した。しかし米山奨学金を頂いて、研究にも没頭できる。助かっている ・ ・ ・ という切実な話も聞かして頂いております。

参加者：最初の話に戻るんですが、奨学生の資格の方がもう既に日本に来られていて大学に入られている方が対象ですか？

松下：はい、そうです。



参加者：という事は、結局 今仰っていた様に中国の方だったら、それだけのお金を自分で用意して日本に来られている。言ってみれば普通の中国の方よりも裕福な方ではないのですか？

松下：そうです。裕福な方が多いですね。

参加者：その人に対して、それに上乗せをして奨学金を与えるのですね。

松下：私が今、預かっている方の場合ですが、親戚やいろんな方から貯金を叩いてもらって日本に来ました。しかし、それも使い果たして途方に暮れていたとこであつた。という様な感じの事も聞いております。優秀性になんか変わってきたという事は、世界に通用する人材の育成という事を重きに置いているんだという事です。

堤：中国にロータリークラブがあれば又別なんですけど、私達もそれは思っているんですけど・・・お父さんの年収を月々に渡している。それよりも、もっと日本に来られない方が居るんじゃないか・・・

参加者：そうですね。私の考えからすれば折角の奨学金であるのであれば、そういった方をどの様な形になるか解りませんが、そういう方を選考して日本に呼んであげるといふ様な形も良いのではないかと。

堤：それは、こっちから向こうに選考に行かないといけませんね。

参加者：この会には関係ないのですが、それに関連して私共のクラブで「足ながおじさん制度」というものをやっております。それは今仰ったように向こうへ行つて我々が選考して高校生を迎える事をやっておるのですが・・・その時に通訳



として活躍してくれた方が、今度和歌山大学に入学したのでクラブ推薦が出来ませんかという事なんです。

松下：良く解りました。

時間がまいりました。まだまだ話は尽きないと思いますが今後とも米山奨学会に対しまして宜しく御協力を御願い致します。どうも有難う御座いました。



**ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640**

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**





## ロータリー財団部門委員長会議

### ○ リーダー

- |                        |       |
|------------------------|-------|
| ・ パストガバナー              | 前窪 貫志 |
| ・ 地区ロータリー財団部門委員長       | 岩本 行弘 |
| ・ 地区ロータリー財団部門学友委員長     | 藤原 重行 |
| ・ 地区ロータリー財団部門増進副委員長    | 中西 栄一 |
| ・ 地区ロータリー財団部門G S E副委員長 | 福岡 重弘 |
| ・ 地区代表幹事               | 前田 耕道 |

### ○ 参加者

- |               |              |
|---------------|--------------|
| ・ 高野山RC 平田 晃生 | ・ 打田RC 児玉 光由 |
| ・ 橋本 RC 中西 栄一 | ・ 打田RC 井尻 和男 |
| ・ 岩出 RC 曾和 宏之 | ・ 岩出RC 西平 邦彦 |
| ・ 橋本紀の川       | ・ 岩出RC 大東 敏晃 |
| RC 田村 章弘      | ・ 岩出RC 芝田 豊和 |
| ・ 粉河RC 田中 登   | ・ 粉河RC 谷口 寿英 |
| ・ 粉河RC 榎本 任志  |              |

### ○ 司 会      西口 康一（粉河RC）

## 前窪 貫志（和歌山南）ガバナー 挨拶

米山と並んでご寄付を頂く委員会とのイメージが強いですが、ただお金を集めていると言われるのが一番困ります。そればかりでなくロータリープログラムを作り、イラク等での戦争回避の為に人材をも育成する為のプログラムも行っており、委員長さんがこの点を率先してPRしていただきたい。



当地区成績ですが、実は一人当たりが重要でありまして一人200ドルを目標とさせていただいております。昨年は6クラブとも目標をオーバーしていただいております。多いところで273ドル、このIMは245ドルで2番目です。ありがとうございます。

## 岩本行弘（富田林東）地区R財団部門委員長 報告兼説明

それでは資料を見ながら説明させていただきます。

平素はロータリー財団に格別のご支援ご協力頂き厚くお礼申し上げます。ロータリー財団につきまして4月の地区協議会 9月のクラブ財団委員長会議で概略を説明いたしました。その中でご質問のあり



ました寄付金について少しお話をさせていただこうと思います。

会の皆様から頂いた寄付金がどの様に管理されているか説明させていただきます。現在の寄付はクラブの事務局員さんまかせにされているところが多いのではないのでしょうか。私のクラブもそのようなところがあります。しかし財団委員長さんは寄付金についてもう少し知って欲しいと思います。そこで寄付金の流れを簡単に説明させていただきます。

皆さんが寄付されますと、クラブの事務局員さんは通常東京の国際ロータリー事務局に送金明細書（資料）に記入され送金手続きされております。まず、流れと管理についてです。送金明細書の上からご覧下さい。いろいろ書いてありますがこれを事務局員さんが記入して送っておられる訳です。以上申し上げましたように最も大切な事はご寄付される方の意思に沿っているかどうかということです。意思表示が正しく記入されているかどうかです。ロータリー財団ではこの送金明細書に基づき一

人一人アメリカのエバンストンロータリー財団事務局で管理されております。

ロータリー財団では会員全員にIDナンバーで管理しています。国際ロータリーも同じことです。そこで注意しなければならない点があります。それはローマ字名で記入される時です。スペルが一字でも違っておれば別人と認識されてIDナンバーも変わってしまいます。



例えば同じ人が2つ持っていて、リストに別人と認識されていることがあります。昨年9月からロータリーのウェブサイトアクセスすると記録が確認出来るようになりました。その表を全部取り出しております。すべて英語です。これを見るにはクラブのパスワードが必要です。それはあらかじめクラブの会長さんが登録しなくてはなりません。今お見せいたしましたのは、私がクラブの会長をしておりますので、私のパスワードでそれを取り出した訳です。皆さんも同じ様にクラブでこれを開いていただくことが重要です。登録していないクラブがありましたら早急に手続きをお勧めします。でないと記録が実際にその人の名前で記録されているのか確認もとれないからです。その表にはかなり古いのも載っています。

また注意しなければならないのは他のクラブから移籍された方です。他のクラブに行かれた場合またそこで登録されると別人になってしまう。その場合古いIDナンバーをそのまま使う。これが記録を継続される訳です。これが重要でありいろんな認証を受ける場合大切となります。IDナンバー2つ3つある場合は東京の国際ロータリー事務局に訂正の申し込みしていただきたい。こちらから変更申請しなければ変わりません。

さて 寄付金についてです。これらはロータリーの友の11月号の29ページの資料です。今月はロータリー財団月間ですのでいろいろ載っております。みていただくとお分かりのように 寄付金には 3つあります。年次寄付 使途指定寄付 恒久基金であります。地区で使える資金があります。地区財団活動資金DDFと呼んでいます。これは年次寄付の60%と恒久基金の収益金の60%が3年後に使える資金であります。表から3年後には10万ドル程の資金と奨学生が辞退した場合の繰越金との合計となります。しかし2006~7年度から50%に減額されることになっております。使途指定寄付はこの地区の寄付金が多いのがおわかりだと思います。これは昨年ポリオプラスへご理解して寄付していただいた結果であります。

次にロータリー財団国際親善奨学金制度について説明させていただきます。12月ごろ詳しい要綱ができます。皆様には1月ごろから2005-6年度の国際親善奨学生を募集、申請をお願いします。これが昨年度の申請書です。こういう申請書があるということを覚えておいてください。これは学生が記入します。最後にクラブの確認の欄がありますので会長さんのサインをして提出していただきます。

奨学金は皆さんの貴重な寄付金の中から支給されております。推薦クラブの裁量におまかせしております。クラブで面接して頂き この人なら国際親善できるだろうか判断していただきたい。しかし推薦したくない人物であると思われたら 無理に推薦される必要はございません。皆さんの事業所でも同じ事と思います。採用される時は面接して決定されると思います。



ロータリー財団国際親善奨学金制度にも3つあります。6ヶ月の文化研修があります。ホームステイが原則です。そして上限が1900ドル。2つ目は1学年奨学金です。上限が2500ドル。大学や大学院で勉強される人に支給します。2年間マルチイヤーがあります。1年で12500ドル いってもいらなくても支給します。2年間大学院の学位取得の為です。必要な経費の残りは本人負担です。支給対象ですけど往復の旅費、授業料、妥当な部屋代、贅沢をしない程度なもの、食事代等です。ロータリーで規定しています。応募資格ですが、入学までに2年間大学課程を修了していること。ロータリー関係者、配偶者、子、孫もダメです。ロータリーを辞めて3年以内はロータリー関係者とみられるからです。理由は3年以内では自分のした寄付金になるからです。派遣するロータリークラブはスポンサークラブとなり、向こうでホストクラブという安心していける奨学生制度と考えられます。今行っている奨学生は3年前の寄付金のDDFです。今のご寄付2003~4年分は2006~7年に50%使われます。60%が50%に減らされます。確実に減ります。配分の方法が変わってくるからです。また次いで留学までの過程を申し上げます。応募してクラブに提出して頂きます。ガバナー事務所で直接受け取りません。すべてロータリークラブを通して推薦していただくのが原則です。クラブで面接していただき OKなら4月末ごろまでに申請して頂きます。地区では地区試験を行います。面接と試験。これをすべてロータリー財団に送ります。その機関で審査します。実力で入学許可を得なければなりません。



ロータリーは学校の推薦をいたしません。地区試験を通っても奨学金を必ずしも受けられるという保証はございません。自分の希望している学校に自分で入るしかないので、語学力や成績がだめな場合辞退を余儀なくされる場合があります。今まで数人います。すべての書類を調べて 入学許可を得たなら入学手続きとなります。交換制度ではありません。また指定されるというが 同じ地区にたくさん行かないで方々の国に行っていただきたい。同じ地区に15名ぐらいしか行けないことになっている。例えばロンドン大学に行きたい人が世界中でたくさんおられる。たくさん来られるとホストが大変である。また同じ地区から3名も行くとう国際親善にならない。ですから各地区から1名となっている。指定教育機関を決めるのも大変なのです。7月に提出した申請者でも16名のうちあと2名が決まっていな。12月中頃までかかりそうです。そういう現状です。これがロータリー財団国際親善奨学金制度です。後の委員会は各出席者の方をお願いします。

#### 福岡重弘（粉河）地区R財団部門GSE副委員長 現状報告

現状報告させていただきます。GSEにつきましては皆さんよくご存知のように団長1名団員4名ということで、いままでは毎年派遣、受け入れとなっておりましたが、今年から2003－4年度は派遣、2004－5年度は受け入れとなっております。それで今年度につきましては4



名の団員を募集しましたところ5名の方の応募がありました。この5名の方達は大変優秀な方達だったので 委員長があまりにも素晴らしい方々であるのでなんとかならないのかということで 4名を1名増やして5名を受け入れて頂くことになりました。来年4月中頃 ブラジル4640地区に、この委員会の委員の阪本（和歌山）さんを団長として6名が出発の予定です。交換ですので次年度は同地区から受け入れることとなるのでご無理をお願いすると思いますので その時はご協力よろしくお願いいたします。

また団員の募集についてこのIMから応募がないように思われますので その機会がありましたらひとつ心に留めていただいて応募して頂きます様をお願いします。以上現状報告とお願いです。



## 藤原重行（和泉大津）地区R財団部門学友委員長

今年度学友を担当させていただいております藤原です。  
よろしくお願いいたします。

皆さんご存知だと思いますが 学友とは何するところかと言いますと、元奨学生やGSEのメンバーの同窓会を指導、支援をおこなう学友委員会です。1971年



以来400名にもなります。名簿等整理しておりますが 1971年以来過去の方も私らより歳の方もいらして、どこにお住まいか把握してない方も多々いらっしゃいます。当委員会で整理しております。

当委員会は何がメインかといわれますと、9月にありました財団奨学生の帰国報告会です。それを担当しています。今年は5名の方にスピーチをしていただき、中身の濃い話でした。黄色の表紙の学友12月号がお手元に届くと思いますので 読んでください。

また皆さんのクラブでの卓話の斡旋をさせていただいております。どうしても卓話の斡旋ですので11月には財団の月間ですので集中してきます。特に学生の方は平日の昼間の例会にはなかなか出にくく、また社会人の方は夜の例会に行けないとか。斡旋にてこずる事があります。時期をずらしてこちらにご報告いただきましたら どうかお一人斡旋出来る形を取りたいと思っておりますので、2月3月予定ありましたら 一番新しい奨学生の卓話を聞いていただけたらと思います。

もうひとつ400名の中には声楽や音楽関係の方もたくさんいらして、この辺では、中川知保さんが継続的にコンサートを開催されたり、前田佳代さんがホームページであげられ活動しておられます。チケットの販売やPRのお世話をさせていただいております。また来年5月の世界大会の時、プレコンベンションを行い、4地区の奨学生を集める場を持ちたいと予定しております。

この場をお借りしてお願いしたいのは過去に奨学生を出しているクラブはその奨学生の親元の住所・電話番号 その方のメールアドレスをお調べいただきたい。どうしても学生さんは電話が通じない、携帯もなかなか通じない。アドレスが一番いいみたいです。今卓話の斡旋などの連絡するときはアドレスでおこなっております。いま一番メールアドレスが適切な手段かと思っております。

クラブから出ている奨学生をクリスマスとかの例会に呼んでやってください。彼ら

はロータリーの奨学生であったことに誇りを持っています。全国的に奨学金の返済の滞納が問題になっております。400億円とか。訴訟にまでいくとも言われております。ロータリーの奨学金は返済の必要はありませんがその代わり義務として卓話でお返しするようにしております。過去に緒方さんや中田さんのような方もおられる。また他にもたくさんのすぐれた方がいらっしゃると思います。今写真を回さしていただいておりますが、それは2001-2年度堺泉北ロータリーの奨学生山本みどりさんが派遣先のインドでポリオプラスのボランティアに参加しているところです。奨学生が至るところで活躍していることを紹介させていただいて終わります。



#### 中西栄一（橋本）地区R財団部門増進副委員長 現状報告

増進委員会の中西です。ポリオプラスも加えさせていただきます。委員長さんが地区の役員の浅い私に経験させてやろうとのことですので宜しくお願いいたします。

まず昨年2002-3年にポリオプラス並びに財団に平均 221ドルもの多額のご寄付頂きありがとうございました。この大変な経済情勢の中で多額のご寄付を頂き、ご支援いただきましたことに厚くお礼申し上げます。とくにこのIM4組は一人当たり245ドルの目標を達成しました。2640地区でIMでは2番目の成績でした。本当にありがとうございました。お礼を言って お願いする委員会であると思っております。本年度はポリオパートナーということでプラス25ドル 3000円を それで225ドルご寄付いただくことになりました。年々厳しさを増す経済情勢ですが さらなる御理解を頂きたいと思っております。

ポリオプラスですが、お配りした資料3ページ3を見てください。発生した国や人数も02年は1918人、03年でも520人 と また11カ国に まだ発症の報告があります。1位はRI会長の国です。2005年には撲滅宣言をしたいのですが、WHOの撲滅宣言は発生が0から3年後であり まだまだであります。みなさんががんばっておられます。友11月号にこの撲滅に苦労されている 感動の記事も載っております。よく読んでください。

私が財団と関わりをもったのは、5年程前に知り合いの人のカウンセラーを1年間させていただいてからです。ロータリー財団のすばらしさがよくわかりました。ご

寄付を頂く上で財団がどんなプログラムをしているのかを各委員長さんはクラブで説明していただきたくお願いします。

また会員だけ寄付金を頂くばかりでなく、元奨学生やその家族、関係者の方々からも、また お知り合いの方々からも 門戸をあけて少しでもご寄付いただければと考えております。

配布の資料をよく読んで頂き、知識を深めて 会員の方にご紹介していただきたく思います。厳しい時代ですが、ご寄付もよろしくお願い申し上げます。

### 岩本行弘（富田林東）地区R財団部門委員長の追加の発言

奨学生を選考する場合 アメリカやイギリスではなくもっと他の国に行って欲しい、人の行かない国にとの要請がございます、国際貢献出来る人を選んで欲しいと。これに近い人を選んでいる。アメリカに行きたい人、ロシアに行きたい人があればロシア希望の方の成績が少し劣っていても選ばれることになる。ある地区で奨学生が多いのも タンザニア とかロシアとか人のあまり行かない国の希望が多いからです。

派遣出来るということは けっこうな地区であります。枠の無い地区にDDFを少し譲って下さいという要請もあります。寄付金の少ない地区、国に我々の持っている枠を譲っている。これも国際貢献であります。

IDナンバーについての質問に対してお答えします。  
地区で皆さんの記録をこのナンバーを使い出して欲しい  
とのことですが、プライバシーの問題から行いません。  
個人でもとれます。このIDナンバーは東京の国際ロータリー事務局に問い合わせば、1日で出来ます。メールアドレスにパスワードが送られて来ます。更に注意していただきたいのは このパスワードは今の会長さんの年度内有効で、次の会長さんは新たにパスワードを請求しなければなりません。



奨学生に女性が多いとの疑問について説明させていただきます。今年度帰国報告されたのは全員女性です。男の人は就職の問題があるようです。女性でも 国際貢献される方も多い。国連に勤める方や、もともと勉強に行ったのですが、向こうで感化されて非常に国際貢献されておられる方もおられます。男の方もどんどん応募していた

だきたい。

それでは時間となりました。 地区の役員様方には詳しくご説明頂きありがとうございました。

約1時間 有意義な委員会でした。参加者の皆様ご苦労様でした。これにて終わります。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**

# 開 会 式

|             |           |       |
|-------------|-----------|-------|
| □開会式        | 司 会       | 東 敬二  |
| □開会点鐘       | ホストクラブ会長  | 平原 祥彰 |
| □君が代・奉仕の理想  | ソングリーダー   | 東 秀樹  |
| □開会の言葉      | I M実行委員長  | 植田 範矢 |
| □歓迎の言葉      | ホストクラブ会長  | 平原 祥彰 |
| □ガバナー挨拶     | ガバナー      | 前窪 貴志 |
| □ゼネラルリーダー挨拶 | ゼネラルリーダー  | 大澤 徳平 |
| □来賓紹介       | I M副実行委員長 | 宇田 勝彦 |
| □地区役員紹介     | I M副実行委員長 | 宇田 勝彦 |
| □参加クラブ出席報告  | 登録受付委員長   | 東 秀樹  |

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA



## 開会の言葉

I M実行委員長 植田 範矢

皆さんこんにちは。本日 I Mの実行委員長をさせて頂きます植田でございます。

本日はインフォーマルミーティングに御参加を頂きまして本当にありがとうございます。今日は皆様方がこの会場にお入りになった時、ちょっといつもより雰囲気が違うなと感じられたでしょうか。もしも、そう感じて頂いていたら我々粉河クラブにとりまして本当に本望とするところで御座います。

と申しますのは、本日この「智慧・愛・・・伝えよう子供たちに」というテーマの元で基調講演と、そして囲炉裏端話をして頂きます。是非とも皆様方にちょっとタイムスリップをした雰囲気の中で味わって頂きたいとメンバー一同そして奥様方の協力によりまして、この会場の雰囲気、そしてこの舞台の雰囲気作りをさせて頂きました。どうか粉河クラブの思いを感じて頂けたら幸いと思います。

本日、本当に不行き届きの点、満足のいかない点があるかと思いますが、これも手作りの為だという事で是非ともお許しを頂きたいと思います。そして本日、このインフォーマルミーティング、1日充分に楽しんで頂きますよう心からお願い申し上げまして、開会の言葉とさせて頂きます。ありがとうございました。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**

## 歓迎の言葉

ホストクラブ会長 平原 祥彰

皆さんこんにちは。私は当クラブの平原で御座います。皆様をお迎えするにあたりまして、ホストが決まってからずっと、練りに練りまして、随分と皆さんに相談に乗って頂きまして本日となりました。委員長はじめ全員の手作りでいたしました。



我々の意図するところを委員長から申し上げましたが、良くご理解を頂ければこんな嬉しい事は御座いません。ガバナー始め御歴々の皆様のご臨席ですので少し堅くなるかなと感じますが、今日はインフォーマルミーティングですので、地区大会ではありませんので枠を外して頂いて、後で目の前の囲炉裏風の上に土鍋を出します。皆様に昔懐かしいお食事をして頂きます。メンバーの奥様方が大変はりきって準備をしてくれておりますので、どうか楽しみにして下さい。

最後まで一人もお帰りにならないで参加を頂ければこんな嬉しい事は御座いません。この辺が特に大切に御座いますので申し上げたいと存じます。私の方からは以上でございます。どうぞ皆様、半日楽しんで下さい。ありがとうございました。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**

皆さんこんにちは。9月には各クラブいろいろと公式訪問でお世話になりまして有難う御座いました。

また11月初旬には地区大会に御参加を頂きまして有難う御座いました。後でご紹介頂けると思いますが今日の「ふるさとの心」でお話頂ける梅田さん、あり

がとうございます。後で詳しいご紹介があると思いますが一応お礼を申し上げたいと思います。

実行委員長が言われたように、確かに60年くらい戻して下さいまして、私の記憶でいきますと父親の里へ行きましたら、こんな感じでございました。こういうIMというのも1つの方法で良いのではないのでしょうか。確かに普段我々いろんな形で職業を通じてという話が1つあります。これは自分の職業を通じてという事。ロータリーの最大の目的という感じがあります。その中でやはり、こういう癒し、非常に大事ではないかと思うし、後ほどお話いただける「智慧・愛」というのも非常に今、忘れられてきた部分を再見直しという事で非常にありがたなと思います。

私が提唱しております101に基づいて頂いたと非常に感謝をしております。成果を期待いたしまして簡単では御座いますが挨拶に代えさせて頂きたいと思ひますし、会長が申されたように、是非最後までお残り頂けますように私からもお願いをして挨拶に代えさせて頂きたいと思ひます。宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**

## ゼネラルリーダーの紹介

前窪ガバナー

本日、当 I M のゼネラルリーダーを務めて頂きます、堺ロータリークラブの大澤徳平パストガバナーさんです。

## パストガバナーの紹介及び挨拶

大澤ゼネラルリーダー

お久しぶりでございます。堺の大澤でございます。  
ご挨拶の前に、まず御出席下さいましたパストガバナーをご紹介させていただきます。

あらためて、前窪ガバナー。1997～98年度ガバナーを務めて頂きました、和歌山 R C の堤パストガバナー。同じく 1998～99 年度ガバナーを務めて頂きました泉南 R C の亀岡パストガバナー。1999～2000 年度ガバナーを務めて頂きました、有田 R C の成川パストガバナー。そして 2001～02 年度ガバナーを務めて頂きました、和歌山東南 R C の前田パストガバナー。改めまして ご臨席ありがとうございます。宜しくお願い申し上げます。



冒頭に「お久しぶりでございます」と申しましたのは、実は私がガバナーの時代、1992～93 年度に那賀町総合センターで、この粉河 R C が当番で I M を開いて頂きました。その時のゼネラルリーダーは嶋パストガバナーでございました。それから本日でございますので 10 年余し経っております。

しかしながら今日のこの会場、本当に素晴らしい。本年度の前窪ガバナーが一番喜んでいただいているのではないかと思います。ロータリーファミリーのいわゆる標本の様に、この会場が出来上がっている。本当にびっくりもしましたし喜びました。本当に有り難うございます。こんな雰囲気ですから、おそらくお一人もお帰りにはならないと私は思います。帰れないですよ、こんな素晴らしい会場からは。どうぞ今日は一日、年に一度の皆さん集まっての勉強会、或いは親睦会でございます。最後までどうか宜しくお願い致します。

本年度の R I テーマは「手を貸そう」という題でございます。前年度は「種を播こう」という題でございましたけれども、それに続いての「手を貸そう」それもクラブ

に手を貸そうから始まりまして、社会に或いは国際的にも手を貸そうという題でございます。なるほどアフリカからお出になった貧しい国を目の前にしてのR I会長でありますので、こういうテーマが出てくるのは当たり前だと思いました。

それに併せて地区ガバナーは親睦という事を重きに置かれました。親睦という事を皆さんもう一度考えて頂きたいです。飲食する事も親睦でしょう。ゴルフするのも親睦かもしれませんが、それはあくまでも手段であって目的ではございません。ロータリーの心を例会を通じてでも皆様に或いは新しく入ってこられた皆様にも伝えて行く。ロータリーの心をご自分で磨いて行かねばならない。その為の手段が親睦でございます。その事も改めて考えて頂きたいというのが、今日の私のお願いでございます。

同時にご自分達が所属しているクラブをもう一度見直して頂きたいという機会にもしたいと思います。と申しますのは、6つのクラブが集まっている訳ですから、どうぞ日頃お話にならない、ご近所ではあるけれども普段お話していない方と名刺交換などをして頂きながら、ご自分のクラブと比較をし、いろいろと足りないところを足して頂こうという機会にしてもらいたいのです。そうする事によってロータリーの本当の良さが判ってまいります。同時にロータリーを楽しんで頂く事が出来るのではないかと思います。ご家族共々にロータリーを楽しんで頂ければ、ロータリーを辞める人は居らない訳です。またロータリーがこんなに素晴らしい世界だという事を自覚すれば、自ずから進んで友をお誘いできる訳です。その言葉には説得力がございます。ご自分が感じているんですから、「こんないいところだよ」と一度例会に呼んで頂き、いつの間にか会員になっているという様な、いわゆる無理矢理引き込んで会員にする必要はございません。それは続きません。どうぞご自分がご自分のクラブを愛し、楽しみ、良く知って頂いて、そういう行動が自発的に出てくる事を待っているのです。そして新入会員の方も直ぐにロータリアンになる事は難しい事です。まず2年間ぐらい例会には必ず出席するというぐらいの、いわゆる例会を重きに置いてのロータリーライフを楽しんで頂きたいというのが今日のねらいでございますので、どうぞ最後まで宜しくお願い致します。

それから皆様より先に部門別会議がございました。プログラムの中にも書いてございます通り、12:50~13:50に親睦委員長会議・米山委員長会議・ロータリー財団委員長会議がございました。私は会長さん・IM委員長さんと一緒に3つの会場を20分間づつでございますが回らせて頂きました。その時のお話をごく一部分ではござい



ますけれども皆様にご報告したいと思います。

まず財団委員長の岩本地区委員長様ですけれども、この方は大変慣れておられまして上手に説明をされてました。「何も金を集めているだけじゃないよ。こんな素晴らしいプログラムをやっているんだ」という事を会員に知ってもらって下さいと盛んに仰ってました。

それから親睦委員会は成川パストガバナーを中心に致しまして、亀岡パストガバナーもお入り下さいました。いろいろとファミリーのお話をなさっておられましたけれども「今更うちは、そんな毎年家族会はやっているよ」「今更、そんな委員会作ってないよ」と中にはあった様なお言葉も聞かれました。しかし時代が時代でございますので、奥様方の御協力なしでは旦那もなかなか表を歩けません。私の家がそうで御座いますので、おそらく皆様も同じだと思います。ご理解を頂く事によってご奉仕もできる、と同時にそのご理解を利用して一緒にご奉仕をして頂くという事でございます。ロータリーの心を伝える訳でございます。

それから米山委員会には松下委員長さんをはじめ堤パストガバナー、前田パストガバナーも出席して頂いております。ここでちょっと気になったのは留学生を推薦します時に「クラブ推薦が無くなっていたではないか、これはどういう事か」「お金だけ集めてクラブで推薦できないのか」とちょっと苦情的な事もお話の中に御座いました。けれども、これは優秀な方をお助けしようというのが最近になって、ここ3、4年前からクラブは一切関係せずに学校の指導教官が推薦おし書類を作って東京に送る。東京の米山の本部で選考致しまして、地区に書類が帰ってきます。そして地区で面接試験をして選びます。選んだ後に、この方はこの学校に通っているから近くのクラブにお願いできないか、とクラブにお願いしているのが岩本委員長です。今そういう形式になっておりますので、どうぞお含みを頂きたい。またご希望があれば、どんどんと言って頂きたい。わりと米山は時代時代に合わせた考え方で変更もしておりますので、皆様方のご意向が強く出てまいりますれば、例えば今、大学生には12万、大学院生は15万。東南アジア、或いは中国に致しましても親の年収が12万ぐらいではないか？学生には多いのではないか？という意見もございました。という様な3つの委員長会議が御座いました事をご報告申し上げて、私の冒頭の挨拶とさせて頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。ありがとうございました。

## 地区役員紹介

I M副実行委員長 宇田 勝彦



- |                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| ・ ガバナー補佐                    | 豊澤 浩 様             |
| ・ ガバナー補佐                    | 楠見 雅信 様            |
| ・ ガバナー補佐                    | 地区米山記念奨学部門カウンセラー補佐 |
|                             | 松下 光晴 様            |
| ・ 地区米山学友委員会委員長              | 田村 弘 様             |
| ・ 地区ロータリー財団学友委員会委員長         | 藤原 重行 様            |
| ・ 地区ロータリー財団増進委員会副委員長        | 中西 栄一 様            |
| ・ 地区ロータリー財団研究グループ交換等委員会副委員長 |                    |
|                             | 福岡 重弘 様            |
| ・ 地区代表幹事                    | 前田 孝道 様            |
| ・ ロータリー財団部門別委員長             | 岩本 行弘 様            |

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**

## 出席報告

登録受付委員長 東 秀樹

参加クラブの出席報告をさせていただきます。



|           | 会員数 | 免除会員 | 本日出席数 | 出席率         |
|-----------|-----|------|-------|-------------|
| 橋 本 R C   | 4 8 | 5    | 2 2   | 5 1 . 1 6 % |
| 橋本紀ノ川 R C | 2 2 |      | 1 3   | 5 9 . 0 9 % |
| 岩 出 R C   | 3 8 | 3    | 2 1   | 6 0 %       |
| 高野山 R C   | 2 8 |      | 1 7   | 6 0 . 7 1 % |
| 打 田 R C   | 1 6 |      | 1 3   | 8 1 . 2 5 % |
| 粉 河 R C   | 4 1 | 3    | 3 6   | 9 4 . 7 3 % |

以上でございます。

## 司 会

以上で開会式を終わらせて頂きます。皆様、御協力ありがとうございました。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA

# 知恵・愛…伝えよう子供達に

## 「紀ノ川とふるさとの文化」

講師 (随筆家) 梅田恵以子 先生

まもなく、ユネスコ世界遺産として登録されようとしている熊野・高野山…。古くは古墳時代から、また万葉の要衝街道として栄えた、ふるさと「母なる川、紀ノ川」が開いた平野に生まれ育った私たち。

はたして今、私たちはふるさとの先人が培った、その大切な誇りと文化をどれだけ理解し、認識を持っているのでしょうか、また未来に伝えてゆけるのでしょうか…。

紀ノ川の文化を愛され精通されておられます、郷土研究家で随筆家としても著名な、[梅田 恵以子先生]を講師にお迎えして、私たちが地域に、家族に、語り続けてゆかなければならない、「ふるさとの心」を、ご講演いただきます。



ふるさと讃歌  
紀州路一〇〇曲より  
作詞 梅田 恵以子  
作曲 森川 隆之

風の中の子もり歌・根来・  
根来の子もり唄  
なつかしさは  
遠い日の母の背中  
聞いた優しいさのうた  
はのぼのと  
花が匂うような  
夢を残して

高野祈り道・高野山・  
木漏れ陽がふりかかる  
あおい杉木立らのあいだから  
高野女人堂は  
なぜかすすりなく  
女のうしろすがた  
ゆきすぎてなお  
淋しさがこみあげてくる

山の村・かつらぎ町・  
わたしの顔が  
輝くときは  
山で樞の实 拾うとき  
かやぶきの屋根に  
ふり落ちる青い実  
すっぱい秋の白いがする



ただいま、ご紹介いただきました、梅田恵以子でございます。昭和6年生まれでございます、ちょっと、足の方がややこしくなっておりますが、まだ、頭の方はまだ大丈夫なようですので、今日は紀州の紀ノ川流域について、お話をさせていただきます。公演をいたします前にふるさと賛歌の中に「高野祈り道」高野山から、お越しの方もたくさんいらっしゃるようですし、来年は、高野山が、世界遺産として、登録されようとしている高野山の「高野祈り道」を堤 敦子さんに歌っていただきます。

高野山の方は聞き覚えのある曲だと思います。夜、9時に町のお知らせの時に高野山でながれている歌がこの曲です。

女人禁制と。今からでは考えられないようなことが、高野山でありました。女は穢れている。それとどうしてか、女と猫と牛は高野山の山内にはいってはいけない。というお話がありました。でも、本当に女性は山内にはいっていなかったか？疑問です。公に残っているお話に、大変有名な天皇が高野山で大きな儀式のある時に、女達が、男装して大門へ見にきたところ、高野山のお天気はよく雷が鳴るんです。その時も雷がなって、男装していた女性たちが「きゃー」とさけんでしまつてつかまつてしまい、追い出されたという話です。

女人禁制が解かれたのは、明治5年です。なぜ女人禁制が解かれたかと申しますと、京都で世界万国博覧会がひらかれまして、文明開化という国で、女人禁制というのはおかしいではないか。ということで女人禁制をしているところはそれを、解きなさいということになりましたが、高野山はそれから5年間も抵抗していました。今は高野山は、観光に、女性の方、大歓迎で「女人禁制」があったことさえ忘れてしまうほどになりました。

未だに、女人禁制をかたくもっている所が、和歌山県の新宮の「おとうまつり」があります。その祭りの日だけは、女人禁制になるのです。もしも女人禁制をやぶったら、この町に不治の出来事がおこる。とつたえられています。その祭りの日は、男性が白装束に身をまとい、食べるものも、白色。かまぼこにも醤油をかけずに、いただく。とにかく、徹底しているんです。

白装束は、「精子」を意味し、三重県との県境の男根のように見える山に男たちが集まる祭りです。その意味を女性に説明をしてあげればいいんですよ。高野山での女人禁制は、女性が修行のじゃまになるということなんです。女性が修行のじゃまになるというような修行は修行とはいえない。と私は思うんですね。

高野の七つ口までは、女性が許されていた。弘法大使は女人禁制とは唱えてはいないのに、どこかでまちがって、つたえられていたんですね。女性を大切にあって、子孫繁栄ということだったんです。また、大嶺山は、いまだに女人禁制ですが、何もかも、禁制を解きなさい。という話ではないんです。どこかは男性だけのところがあってもいい。と私は思っています。

高野山の精進料理について少し、お話させていただきますが、精進料理は、おいしく食べてすっきりと出す。という意味あいなんですね。

まず、精進料理にかかせないのは 大豆です。大豆は健康の素になる、豆腐、煮豆、揚げ物にもなります、豆は多食すれど害はなし。というほどいい、よい食材です。それとわすれてはならないのが、ゴマです。」ゴマは仙人の薬とされていまして。ゴマを常に食べるという習慣がある。

正月のおせち料理のなかに、お話がはいっています。豆をたべて、まめになり、レ



ンコンは先の見通しがきく、コンニャクは腸内の砂をはらい、牛蒡は地中にしっかりと根をおろす、土台がしっかりしているといういわれがあります。

食は故郷を見直す。その土地の風土にあった料理が郷土料理です。「くるみもち」もおはぎを枝豆のあんでくるむというところから「くるみもち」とよばれるようになったと思います。

また、カヤの実には虫下しで重宝されていました。妙寺の堀越観音の境内で、カヤの実をひろった時の気持ちを歌にしてみました。



故郷賛歌を森川隆之先生の作曲で、歌をうたいながら、講演を聞いていただいています。和歌山県内に故郷をひろめようとまわらせていただいています。

昔、お風呂をたくときに、ガスも石油もないころで、薪をたいたんですが、追い炊きにむぎわらをくべた時の、あの透き通った赤い色がわすれられません。

また、農業についてもお話しますと、土にも酸素を吸わせて、お日様の光をあてて、土を育てていました。今は有機農業をしておられる方が、土をなめて土の味をみておられました。農業の基本は土であったことが今も昔も変わらないことが良く解りました。

その頃、私が姑から教わった茶粥が、私の里とは違った茶粥でした。それは、茶粥が炊きあがる時に、大豆を炒って、出来上がった茶粥の中に入れると、なんとも香ばしい茶粥ができました。いまでは、高級品となった、天然鮎も、素焼きでうるかと味噌をまぜたものをつけていただきました。

ジャコもそうでした。練炭に長い時間かけておいていただきました。ゴマも今は「炒りゴマ」が売っていますが、開封したときだけは、いい香りがしますが、暫くおくと香りがなくなる、どれをとっても、今は忙しい時代でお湯を注ぐとラーメンができ、また、ごはんまで食べれる時代になりましたが、食べ物はゆっくりと、時間をかけて手間もかけていただくように、忘れられた何かを思い出していただきたく、いつも思っています。

和歌山は、食文化がほんとうに発達しており、紀伊半島はすし半島と言っていいほど、たくさんの種類があります、柿の葉すし、すずめ寿司、わさび寿司、などです。これらを、伝承していかなければならない。

岩出町の根来にある子守唄があります。子供をおんぶしながら、歴史を歌った歌が特徴です。すさみ町に守の生活改善のような歌もあります。

「わが子かわいけりや、守に餅くわせ。守がこけたら、子もこける」

「ねんね、根来へ行きたいけれど、川がおとろし、紀ノ川が」

もうひとつ、和歌山県が子守唄のルーツであるといふような、ことを、思っているのに、古座町のこのは神社という神社のおまつりの、祝詞が「ねんねんよ、おころりよ」となっています。いまは、その神社は子供の神様としてお祭りされています。和歌山へ、いやいやこられた徳川頼宣公がありとあらゆることでご活躍され、秀吉をお祀りするために東照宮を建てられ、家康が身近に感じることもできるのが和歌山県であります。

もう一度、何かの折につけ、和歌山県を見直し、すばらしい故郷として皆さんにも伝えていっていただきたい。とお願いしまして、最後に子守歌を聞いていただきまして、私の講演を終わらせていただきます。

# 基調講演





# 囲炉裏端話

司会 野崎 丞

皆様大変お待たせ致しました。

私、囲炉裏端話の部の司会を仰せつかりました。野崎ですどうかよろしくお願い致します。

先程来よりお召し上がりいただいた、「おかいさん」のお味はいかがでしたか、お誉めいただければ、メンバーの奥様方も手作りかいがあったものと喜んでおります。今日はサービスの方も昔懐かしい割烹着を着用して頂きました。

さて、かつて、冬は囲炉裏端や火鉢の周りで、夏はうちわを片手に縁台で、おじいさん達やおばあさん達から胸をときめかせながら、又家族全員の会話を楽しみながらふるさとに伝わる昔話や伝説の話を聞いた事がお有りの方が多いい事と思います。

そして現在、エヤコンやテレビ、子供達も自分一人一人の部屋を持てるような時代になりました。あの民話や昔話は段々と私達の周りから姿を消そうとしていますし、私達も子供達や孫達へ伝える素材や機会を逸しようとしています。

今こそふるさとに伝わる昔話しを見直して頂きたく今回お集りの各6クラブに関係する地域に伝わる民話等を「日本の民話」紀の国編(茨木 淳巳著)より抜粋し琴の音にも似たアルパの調べに乗せてお聞きいただきたいと思います。

それではまずアルパ奏者の上之山幸代さんを御紹介致します。

プロフィール

演奏 イン트로

民話 3話

演奏 さくらさくら

民話 1話

演奏 里の秋

民話 2話

演奏 川の流れのように

民話 はなおかせいしゅう

演奏 ふるさと

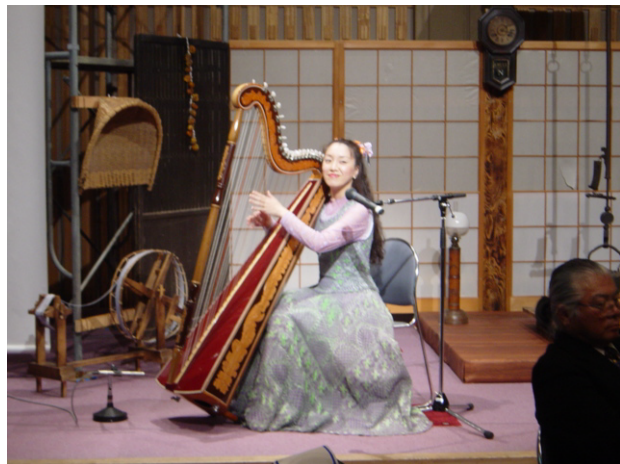


(上之山)

ふるさとを手話で表すと子宮と表現します、子宮から地球迄私達のふるさと、ずっとずっと大事にして行きたいものですね。

今日は最後迄聞いて頂いて有り難うございました。

尚民話は別紙にてご参照下さい。



## キツネの恩返し

(打田町の昔話)



むかしの人は、空が明るいのに、そこだけ雨が降ってきたり、そのあと虹がかかったりすると「これはキツネの嫁入りや・・・」て云うたな。

むかし、むかしのことに打田の花野いうところに、お夏という別嬪のキツネが棲んでたんやとい。

そいでお夏も年頃になったんで、紀ノ川をへだてた段村（今の桃山町段あたり）のコン太どこへ嫁入りすることになったんやしよ。

そいで夕立を降らして人に見られやんよにして嫁入りしたんやそうな。

ま、そこまではよかったんやが、お夏はなかなか別嬪ギツネぐらいで、わがままやし、里の花野へはたびたび帰りがったんやと。

ある年、大風が吹いておまけに大雨が降り、紀ノ川は洪水になってしもて、土地の低い段村はすっかし水びたしになってしもたんやしよ。

コン太らの巣もグチャグチャになってしもた。

そこで修理する間、お夏はまた花野へ里帰りすることにしたんやけど、いつまでたっても紀ノ川の水が引かんのや。

お夏は大分考えてたけど、とうとう娘さんに化けてな、渡し船へ乗ることにしたんやしよ。

ところがその船でバツタリ花野の観音寺の和尚さんに乗り合わせてしもた。

和尚さんは、さすがに一目でお夏が娘さんに化けているのを見抜いたらしいわ。その耳もとで「おい、お夏よ、えろう美人に化けたもんやな」と云うもんやよって、お夏はぴっくり仰天。

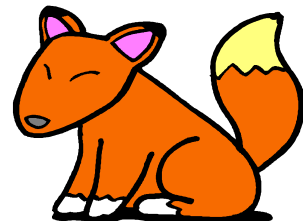
思わず手に握りしめてたお金を川へ落してしもたんや。もっともお金ちゅうたて、もとは木の葉やったよって、ヒラヒラと水に浮いて流れていっただけやけど・・・。

これにはお夏もびっくりしたわ。なんぼ木の葉をお金に見せるにしても、そのもとになる木の葉の予備がもうないんや。

おまけに船は川の真ん中やよって、どうすることもできやなんだ。

お金を持ってないと、「どこの娘さんや」とか、うるさく船頭さんに聞かれるやろし、お夏がモジモジしていると、船を下りる時になって、和尚さんがチャーンと払ってくれたんで助かったわな。

それからあと、この観音寺には不思議なことが起こって、お詣りする人が急に多くなり、お金もたくさん入ってきたので、和尚さんは立派なお尊を建てたんやて。おおかたお夏が恩返しをしたんやろ。



## はなおかせいしゅう



華岡青洲先生はのし、今からこ二四〇年前那賀町の平山という在所に生まれなしたんやよし。江戸時代の末期のことやしてよし。

西暦一七六〇年十月二十三日、今まで晴れていた空がにわかにかき曇り、雷が葛城山にゴーと落ちて地を揺るがしたとよ、男のやや子が勢いのええ産声上げた、とたんに雨が止んでカーッとお陽さんが射して、悠々と白い雲が流れたそう。大先生は雲にちなんで「雲平」と名付けなしたんやしてよし。今でも、この平山に青郷先生を訪ね来ると、いつも雪が鳴って大雨を降らすのやしてよし。

那賀町に「青洲の里」が出来た時も映画や演劇のスターがお基参りに来るたびに、いつも雷が鳴って大雨を降らす。青洲先生が喜んでいなさると地元の者が言うてなさるのよし。

雲平さんはお祖父様もお父様も医者さんで、小さい頃から病で苦しんでいる人達を救っている後ろ姿を見て育ちなさった。そんな雲平さんはいつの間にか「だれも治すことの出来ない病を治すことの出来る医者になりたい」と、夢を持つようになりましたのよし。

お父さんから「南蛮流」の医学を学んでいましたが、二十三才の時「京都に行ってもっと医学を学びたい。そしてどんな病でも治せる医者になりたい」と決意したのよし。

京都で勉強中にお父さんが亡くなつてしまい、妹の於勝さんと於陸さんが一生懸命に機織りして雲平さんの勉強の仕送りをしたのやしてよし。

そして雲平さんが京都での勉強の間に、お母さんが名手の庄屋本陣の娘「加恵」さんを見そめなして「雲平の嫁にと」華岡の家に迎えなしたのよし。

加恵さんは花婿の顔も見ずに嫁入りして、三年もの間、ジーと待っていなさったのやしてよし。三年の月日が経ち雲平さんが帰って来なしたのよし。

雲平さんは有名な「大和見立」(やまとけんりゅう)先生からオランダ流の外科医術を学んできたのやしてよし。

「病人を救うには、病の元を切って取つて、そして治す。それにはどうしても麻酔薬が必要や。絶対に必要や！」と、それから麻酔薬の研究に寝る間惜しんで取り組みましたのよし。

名も「青洲」と改めましたのよし。折しも世間は四年間も雨が降り続き、大飢饉となつていましたのよし。

近所の人等は「青洲が捨て猫やら捨て犬で麻酔薬の実験をして、殺すからそのたたりやないか」と噂し合っていましたのよし。

そんな折り、妹の於勝さんが乳癌で倒れなしたのよし。「お勝を殺したのは俺や、おれの医術が至らん証拠や！この悔しさは誰にも解らん」と青洲先生は悔やんで、食べ物もとらず痩せて側で見るのも辛かったよし。

妹を亡くした青洲先生は「お勝の死は無駄にしない」と、麻酔薬の完成を心に決めて、以前にもまして実験に取り組みなしたのよし。それをそばで感じていた母・お継ぎさんと、妻・

加恵さんが「わたえの身体を実験に使うて！」と青洲先生に競ってその人体実験を申し出たのやしてよし。そして、二人による何回かの人体実験によって、ついに「麻酔薬・通仙散」

が完成されましたのよし。

しかし、その何回かの人体実験で妻・加恵さんの両眼は失明してしまいましたのよし。





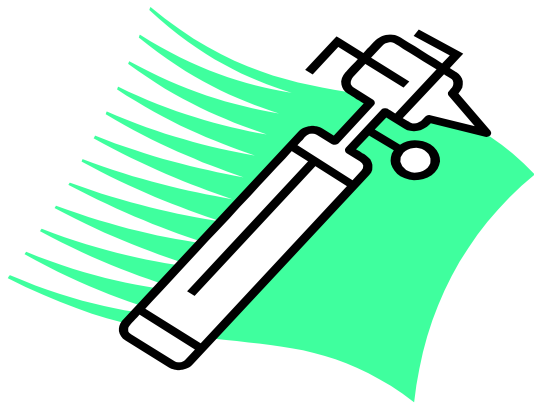


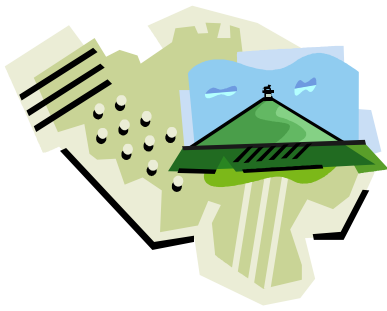
ついに、文化元年一八〇四年、丁度二〇〇前、麻酔薬・通仙散を使って、不治の難病と言われていた乳癌の手術が成功したのやしてよし。世界ではじめてのことやしてよし。

京都の勉強から帰って、二〇年の苦難の月日がたつていたんやしてよし。

青洲先生は四十六才になつていましたのよし。その後、青州先生は、三十年に渡り、実に百五十六回もの乳癌手術をし、また他の多くの手術もして、難病に苦しむ多くの人々を救われまたのよし。こんな話が全国に広まって、平山の在所へ全国よりおびただしい患者が殺到しましたのよし。又、青洲先生は診療にあたるかたわら多くの門下生を教授しましたのよし。その門下生は実に、二千名以上になりましたのよし。

そして青洲先生は「医者金儲けを望んではならぬ、患者を救うことだけを考えての」と、医者の心構えをきつく教授されたと聞いていますのよし。





## 高野の榊一揆

(橋本市の伝説)

橋本市学文路の里・町並みを外れた畑の中に、ひっそりと戸谷新右衛門の墓と伝える苔むした墓石と顕彰碑が建ってるんやけど、そのいわれをお話しよの。

江戸時代、このあたりは高野山の領地やったが、新右衛門はここで庄屋をつとめてたんやと。

その頃の高野山は、修行を専門にしている学侶派の人と、宗派内の事務など一切をとりしきる行人方、それに全国を回って宗教を広めていく高野聖の三派に分かれ、新右衛門のところは、この行人方の領地やったそうな。

ところが毎年、年貢を納める頃になると、村人たちの血を吐くような恨みの声を聞くんや。

というのも、その頃、行人方の寺領では、全国共通の京榊を使わんと、讃岐榊を使用してたんや。

この榊は京榊に比べるとこ割ほども多く入るもんやった。ほいでお百姓さんらみな困ってしもたんや。

新右衛門が高野山へ交渉に行くと「お大師さんに供えてると思たらええんや」と云うて相手にもしてくれへん。

しつこく云うと、頭をクリクリにそられて「もうこれでお大師さんの弟子や、文句も云えやんやろ…」とあざけり笑われる始末。

そこで新右衛門も腹を決め、ある雨風の夜に証拠の讃岐榊を盗み出し、江戸へ直訴することにしたんや。

長い苦労を重ねて、ようやく幕府の寺社奉行に訴えることができてな、正・副の使者一人が高野山に登り「以後は讃岐榊の使用を禁止する…」と厳重に申し渡したんやと。

けど新右衛門は、当時の秩序を破って直訴したという罪で、江戸で三年もの間、牢屋にはうりこまれたんやして。

やっと享保七年の春に、自由の身となった新右衛門は、喜び勇んで紀州へ帰ってきた。

桜の花がハラハラと散る晩春の夕方、新右衛門は三年ぶりに夢にまで見たなつかしい故郷へ帰ってきて、村人たちの大歓迎を受けたわ。

江戸時代といえば、お百姓さんらにとっても、なかなか生き難い時代やったが、一身を投げうって村の人々の難儀を救うために、はるばる遠い江戸まで行き、直訴までするちゃうことは、並や大抵のことではできんことやわな。

その新右衛門をお祀りした新右衛門堂ちゅうのが、近くの成就寺の中に残されてるで。



## 小野小町の話

(岩出町の民話)

なんちゅうても、むかしのミス日本ちゅうのは小野小町さんやろな。  
平安時代のことやと思うけど、和歌山市の東の方の在所に根来ちゅうところがあつての、ここの尼寺に都から来たちゅうものすどい別嬪さんと、おつきの女中さんが滞在してたそうな。  
実はこの人が小野小町さんちゅう人で、美しいことも美しいけど、オツムの方もまたすどくよかつたらしいわ。  
なかでも歌を詠ませたら、この人にかなう人はない…ていわれたぐらいやしよ。そいで、あちこちの男からモーションをかけられてな、もううるさてうるさてしようないよって、とうとう都から逃げ出してきたんやと。  
ところが、それでも諦めきれやんと、探草少将ちゅう人が、はるばるここまで追っかけてきたんやしよ。  
そいで「嫁さんになれ、嫁さんになれ」ちゅうて毎晩口説きにくるもんやよって、さすがの小町さんも閉口してしもてな  
「では百日の間、毎晩お通いになったら、お望み通りにいたしましょう」て、返事をしてしもたんやて。  
人間、恋の力ほどおとろしもないで。それから雨の日も風の日も、毎晩通うてきて、とうとう九十九日目の晩になってしもたんや。  
「まさか」と思ってたのに＝…・と小町さんは泣いてるばかりやった。そいでおつきの女中さんが知恵をしぼって、とうとう百日目の朝早よに、二人で逃げ出したんやて。  
どんどん西の方をめざして、朝露にぬれるのもいとわず走っていったんやが、運の悪いことに深草少将に発見されてしもた。もうちょっとで追い付かれそになったんで、とうとう女中さんは小町さんの着物を借り、けなげにも身代りになって池へ飛びこんで、そいで少将の目をくらましたんやと。  
その間に、小町さんはとうとう逃げ切ってしもたんやて。  
このあと、小町さんはあてどもない旅を続けたんやが、八十八歳になった時にまた紀州へやっ  
てきて、山口の里に庵をつくり、心静かに余生を送ったんやと。  
今も山口の遍照寺には小町さんの木像が残されてるけど、それが八十八の姿で、お乳もたれ下り、アバラ骨も浮き出て、こらもう無惨なもんやわ。

## 石童丸

### 高野山の伝説

石童丸ちゅう人の悲しいお話をしよかの。

石童丸が生まれた時には、お父さんはもういやなんだ。

なぜかいうと、急に世の中にいや気がさして、お腹にいる右童丸やお母さんを残して、仏の道に入るちゅうて都へ旅立ってしもたんやと。

加藤繁氏というて小さいながらも苅萱の里の領主やったんやが、それにしても残された石童丸らは可哀そうやった。

石童丸は十三になると、なんとかしてお父さんに会いたいと思い始めたんや。

そいで母に頼みこんで、二人は都にいるという父を尋ねて遠い九州から旅に出たんやしよ。

険しい山坂を越えて、ようよう都に看き、お父さんを尋ね歩いたら、もう高野山へ移ったということがやつのことに分かったんやして

ほいで二人はまた高野山をめざしたんや。

学文路（今の橋本市）まで来たんやけど、とうとう旅の疲れからか、お母さんは病気になり、宿で亡くなってしもた。

泣く泣くも母の葬いをすませ、石童丸はひとりで高野山へ登って行った。

そやけどお父さん(その頃は苅萱道心と名乗っていたんやけど)の消息は、なんぼ探しても分からんねや何日も何日も尋ね歩いたけど分からん。

疲れはてた石童丸はとうとう路傍にへたりこんでしもた

そこへ一人のお坊さんが通りかかってな、いろいろと石童丸を介抱してくれ

「しよせん父と子というのも浮世の縁に過ぎぬ、ここではみんな仏様のお弟子じゃ、こうして知り会うたのも何かの縁じゃ、わしの庵に住んで修行しなされ」

と云ってくれるんや。そいで石童丸も素直にその言葉に従うことにした。

ま、そのお坊さんの目には涙が一ばいたまっているのには気がつかなんだようやな。

これが石童丸の実のお父さん、つまり苅萱道心やったんして。

それからあとも、石童丸はずうっと後まで、この苅萱道心を師匠として一緒に暮らしたんやとい。

けど、お父さんは、とうとう死ぬまで親子であることを明かさず、そいで薄々は気づいていた石童丸もついに「お父さん」とは呼べやなんだ。

今も高野山には苅萱隻ちゅう立派なお堂が建ってるけど、

どうやらここは二人が住んでた庵の跡らしいで。





## 祓王のはなし

(粉河町の伝説)

県立粉河高校の東の方に「舞田」ちゅう地名が残ってるんやが、なんでそんな風流な地名が残されてるんか、そのお話をしようかの。

むかしむかし、この粉河のあたりに争いがあったの、敵味方に分かれて戦ったそうなの。その時、一人の若者が生け捕りになって、牢屋へ閉じこめられたんやと。けど、その番人をしてた人が、素直な心をもったこの若者にいたく同情して、ある晩、牢を開けて逃がしてやったんやしょ。この牢番をしてた人は、なかなか立派な人だったらしく、この若者の人柄やその考えなどを見聞きするごとに、死罪に処せられるにはいかにも惜しいと思うようになったわけや。

自分はもう老い先は短かいけど、もしこの若者を逃がしてやったら、やがて世の中の為になるじゃろ…と考えたんやろな。

それにしても、重罪人を逃がしたとあっては、牢番の責任は重たいわな。

今度はあべこべに番人の方が牢に入れられ、明日はいよいよその首が切られることにきまったんやとい。

風の便りでこのことを知ったのが娘の祓王で、この人は都の舞姫として知らぬ人もないほど有名やった。

それが取るものも取りあえず粉河へ戻ってきて「どうぞ一目だけでも父に会わせて下され…」と泣いて牢の番人に頼んだんやと。そしたら牢番人は「重罪人やよって会わすことならんけど、お前が得意の舞を舞って見せてくれたら会わせちゃら」ていうんやしょ。泣く泣くも父に会いたい一心で、祓王は舞ってみせたんや。

そいで父に会うことが出来た。牢の外と内との悲しい対面やったが、父は

「わしは将来ある若者を逃がしてやったことに悔いはない。人を助けるのは仏様の行いじゃ。それをなしたうえは、もういつ首を切られてもええ。ただただ観音様にお祈りしてくれよ。」というてハラハラと涙を流すばかりやったと。

いよいよ首を切られる時がきて、二人は一生懸命に観音さんを念じてた。刀がふり落されようとする時、ピカッと稲妻が光って首切り番人が思わず手を離すと、下へ落ちた刀はポキンと二つに折れてしもた。

あまりの不思議さに父は許され、父子ともども喜んで戻っていったそうなの。それから祓王の舞ったところを「舞田」と呼ぶようになったんやと。





## 帳落し観音

(かつらぎ町の伝説)

かつらぎ町ちゅうところは随分広いとこやな、う〜んと縦に長い町や。

そいで北は、大阪府の和泉市と境を接してるんやが、そこに平の大久保ちゅう在所があるんや。

もう人里離れたさみしいとこやが、それでも秋も深まると、名物の柿がどっさりとなって、もう在所中が朱にそまったようになるんやしよ。

ここに定福寺ちゅうお寺があるんやが、この本堂は、一般には「八ツ割堂」といわれてな、あのハギの木が大きくなったのを八つに割って使ってるちゅうことや。このお寺は、どんと昔の元正期（七一五〜七二三）の開創ちゅうから、古いもんやの。

それはそうとして、ここの本尊は十一面枚音さまやしよ。

背丈五尺七寸三分（約一・七メートル）やよって、ほぼ等身大やけど、行基の作やと伝えられ、なかなか立派なもんやで。

ところが不思議なことに、この観音さんは筆と帳簿を手にしたはんね。

その訳ちゅうのがこらまた面白いで。

実はこの枚音さんは、ものすごう頭がようておまけに口もたったんやて。

そいで同じ観音さんの集まりでも一目置かれてたそうな。

ある時のことに、日本中の主なる観音さんが集まってな、西国三十三カ所の札所になる観音さんを決めることになったんやと。

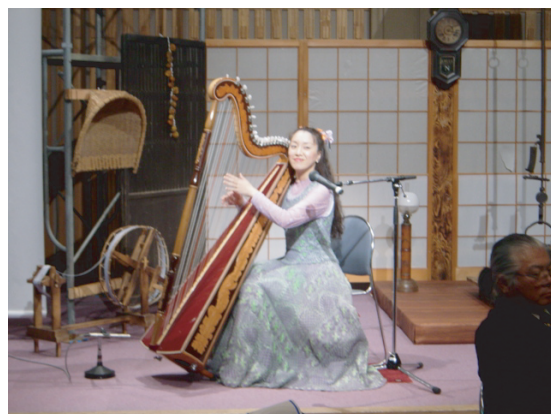
そいで定福寺の観音さんが、まあ今日で云う議長にならあったんや。そいでな、次々と順番を決めていくことになったんやけど「ええっと、一番は、どこにするかのう」ちゅうところで、もうモメだしたんや。

誰でも一番の札所にしてほしいわな、あれこれモメてどうにも決まらんよって、議長役の定福寺の観音さんに決めてもらうことにしたんや、そしたら「まず伊勢へお参りした人が、足をのばしてお参りできるどころと云えば、これは紀州は那智の青岸渡寺というとこやな…、それから、二番は紀三井寺はんやろ、そいで三番は粉河寺…つと」

頭のええ観音さんやよって、道すじを考えながら次々に決めていかはった、けど肝心の自分のところを入れるのを忘れてもたらしいわ。

そいでこの観音さん、今でも「帳落し観音」と呼ばれて、筆と帳面をぶら下げてるんやと。

# 団 炉 裏 端 話





# 閉 会 式

- 閉会式
- 概 評
- 次期ホストクラブ発表
- 次期ホストクラブ会長挨拶
- 閉会の言葉
- 手に手つないで』
- 閉会点鐘

司 会  
ゼネラルリーダー  
ガバナー  
高野山ロータリークラブ会長  
I M副実行委員長  
全員で  
ホストクラブ会長

東 敬二  
大澤 徳平  
前窪 貴志  
古沢 憲治  
吉田喜代司  
  
平原 祥彰



# 概 評

## 大澤ゼネラルリーダー

何も言う事御座いません。素晴らしいIMでした。  
梅田先生から私が堺から来ているという事をご存じで、堺のクルミ餅の  
宣伝までして頂いて、本当に何も言う事御座いません。

堺の方がずっとずっと田舎で御座います。

粉河は素晴らしい、センスがいい。

もう何も言う事御座いません、ありがとうございました。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**



# 次期ホストクラブ発表

## 前窪ガバナー

久しぶりに、美味しいお粥をいただきました。  
奥様方、どうもありがとうございました。

次期ホストクラブの発表を致します。  
次期は先程からいろいろ話題になっております  
高野山ロータリークラブ、宜しくお願いします。



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**

## 次期ホストクラブ会長挨拶

### 高野山ロータリークラブ会長 古澤憲治



皆さん、こんにちは。私は高野山ロータリークラブの古澤と申します。宜しくお願いします。

今年度のIMは、粉河ロータリークラブという事で早くから計画して頂いて、いろいろお世話頂きましてありがとうございました。

本当に大澤パストガバナーは云われました通り、肩のこらない良いIMだったと思います。

今、前窪ガバナーの方から発表頂きました、次年度のIMホストクラブは私共高野山クラブで御座います。粉河RCさんに負けないようなアイデアを考えまして、皆さんをお迎えしたいと思っております。

おそらく来年の4月頃、ロータリー100年の森の植樹祭もあると思います。IMの頃には、かなり植樹も進んでいるだろうと思います。

高野山は今、世界文化遺産登録が目前という事で景観の整備、町のメインストリートの電柱を撤去する大がかりな工事をしております。道路を掘ったり埋めたりする工事が続きますが、おそらく来年度のIMの頃には、工事も終わって景観も多少高野山らしくなっていると思います。

この6クラブの中では高野山だけが地域が離れとおりまして、交通の不便・時間のロスと云う事も御座いますけれども、来年は大挙をして高野山の方へおいで頂きたいと願っております。

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2640

GROUP 4

INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA

## 閉会の言葉

I M副実行委員長

粉河ロータリークラブ 吉田喜代司



それでは、いよいよ終わりにになりましたので、一言お礼の言葉を申し上げたいと思います。

いろいろ気になっておりました4組のI M、何とか無事に時間内に終了させて頂ける事になりました。

本I Mを開くにあたりまして、前窪ガバナー様そしてゼネラルリーダーの大澤様、またパストガバナーの皆様方、地区役員の皆様方。それに加えて梅田先生、堤さんのお歌、そしてアルパ演奏の上之山さんという風に、うまく時間を使わせて頂きました。タイムスリップを何とか皆様にご満足頂けたかなと考えております。何をしても予算の関係で全部手作りでやって頂きました。本当に粉河ロータリークラブの総意にかけて、いろいろ苦心をさせて頂いてこの程度なんですけれども、まだまだ考えれば良いものが出てくると思いますが、この程度でご容赦頂きたいと思います。

机の上に囲炉裏端らしき物があります。大澤さんが帰りにもらっていこうかなと云う話がありました。どうぞ良かったら皆さんもお持ち帰って頂けたらと思います。この会のお粥の事なんです、どのようにすれば良いのかなと炊くりハーサルまでしました。今日、朝からメンバーの奥さん方に一生懸命に段取りをしていただきましたし、お漬物から始まって何から何まで全部手作りであります。テーブルの上に置かせて頂いている柿なんです、これは種なし柿の干した物なんです。干し種なし柿と申しまして、見てくれはこの様ですが、非常に美味しいはずですよ。どうか一つお持ち帰り頂きたいと思います。

本日、滞りなく終了させて頂けたのも、最後までメンバーの皆様方が残って頂いて、盛り上げて頂いた事に厚く御礼申し上げまして、非常に措辞では御座いますが閉会のご挨拶に代えさせて頂きます。ありがとうございました。

**GROUP 4**

**INTERCITY MEETING  
IN  
KOKAWA**



# 準備風景

